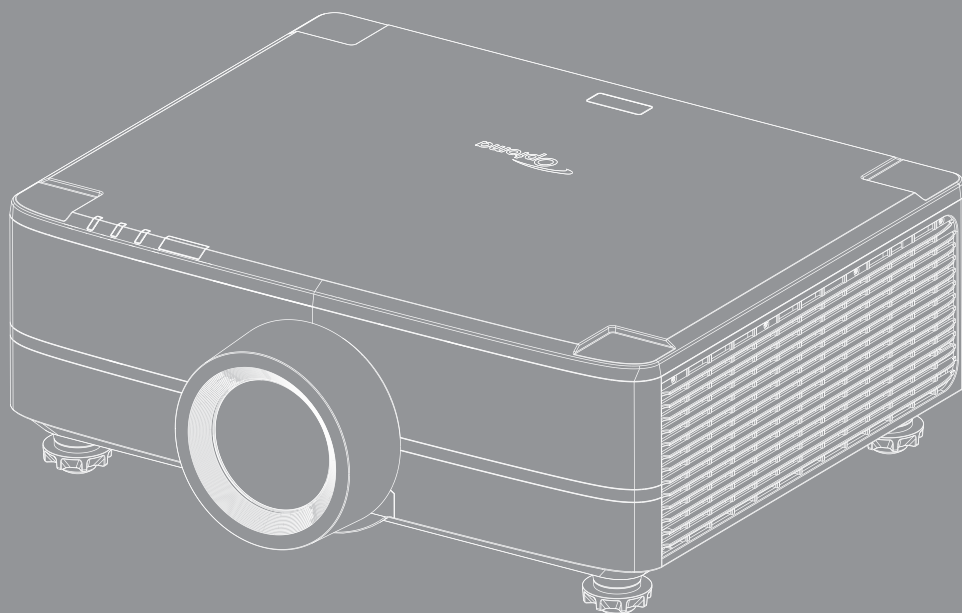




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



目次

安全	4
安全に関するご注意	4
レンズの清掃	5
レーザー安全情報	6
3D 安全情報	7
著作権	7
免責条項	7
商標認識	8
FCC 通告	8
EU 諸国への適合宣言	8
WEEE	9
 はじめに	 10
パッケージの内容	10
標準アクセサリ	10
製品の各部名称	11
接続	12
キーパッド	13
リモコン	14
 設定と設置	 16
ソースをプロジェクターに接続する	16
プロジェクターの画像を調整する	17
投影画像シフトを調整する	18
プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する	21
プロジェクターの位置を調整する	22
リモコンの準備	23
 プロジェクターを使用する	 25
プロジェクターの電源オン/オフ	25
メニューナビゲーションと機能	27
OSD メニューツリー	28
イメージメニュー	42
ディスプレイメニュー	47
入力設定メニュー	54
デバイス設定メニュー	55
通信メニュー	61
情報メニュー	66

追加情報 67

対応解像度.....	67
RS232 ポート設定と信号接続.....	70
画像サイズと投影距離.....	71
天井への取り付け.....	73
IR リモートコード.....	74
トラブルシューティング.....	76
LED インジケータと点灯メッセージ.....	77
仕様.....	78
手動ワープ制御手順.....	79
RS232プロトコル機能リスト.....	82
Optoma 社グローバルオフィス.....	91

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

これにより、この製品は、電磁両立性指令 2004/108/EEC に関する加盟国の法律のすり合わせに関する理事会指令に定められた要件に準拠していることが確認されています。



警告

- この製品は住宅地では使用しないでください。
- この製品を住宅地で使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。
- 本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

ラジオやテレビ放送の受信への干渉を防ぐために電磁放射を減らすための特別な対策を講じない限り、そのような使用は避けてください。

安全に関するご注意



- 光線を目に入れないでください (RG2)。
あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。たとえば、プロジェクターを混雑した表面に置かないでください。本棚やキャビネットなど、空気の流れを妨げる筐体にプロジェクターを置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 5°C ~ 40°C (41°F ~ 104°F) の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。

- プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗淨する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗淨しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、おび/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。
- これらの要件は、ボタン電池またはコイン型電池を含む消費者製品に適用されます。これらは、専用の目的と説明書により、お子様がアクセスする可能性のある場所での使用を意図していない製品には適用されません。これには、専門職専用の製品や、お子様が通常存在しない場所での商業用途向けの製品などがあります。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告

- レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。
- レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。
- 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。
- お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。

"WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN."
Additional warning against eye exposure for close exposures less than 1 m.

"AVERTISSEMENT : INSTALLER AU-DESSUS DE LA TÊTE DES ENFANTS."
Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1 m.

「警告：安装在高于孩童头顶处」
关于小于1 m近距离眼睛暴露的附加警告

「警告：安装在高於兒童頭部處」
針對1 m 以下近距離眼睛接觸的額外警告

レーザー安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。IEC 60825-1:2014 :クラス 1 レーザー製品-リスクグループ 2

	IEC/EN 60825-1:2014 CLASS 1 LASER PRODUCT RISK GROUP 2 Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed. 1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019. IEC/EN 60825-1:2014 PRODUIT LASER DE CLASSE 1 GROUPE DE RISQUE 2 Conforme aux normes 21 CFR 1040.10 et 1040.11, à l'exception de la conformité en tant que LIP du groupe de risque 2 définie dans la CEI 62471-5: Ed. 1.0. Pour plus d'informations, voir l'avis au laser n° 57 du 8 mai 2019. IEC/EN 60825-1:2014 1類激光產品RG2危險等級 除了IEC 62471-5:Ed.1.0中定義的RG2 LIP 危險等級以外，要符合21 CFR 1040.10和1040.11，更多相關資訊，請參閱2019年5月8日的第57號激光公告。 IEC/EN 60825-1:2014 1類激光產品RG2危險等級 除了IEC 62471-5:Ed.1.0中定義的RG2 LIP 危險等級以外，要符合21 CFR 1040.10和1040.11，更多相關資訊，請參閱2019年5月8日的第57號激光公告。
--	---

- 本製品には、クラス 4 レーザーモジュールが内蔵されています。分解または改造は非常に危険ですので、絶対に試みないでください。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- 制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。
- クラス 2 のアクセス可能放射制限を超過するレーザーおよび二次放射への曝露を防止し、注意事項に関連する明確な警告を含む組立、操作、保守に対する十分な指示事項。
- クラス A デジタル機器は、カナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。電波障害発生機器規約。
- Cet appareil numérique de la class A respecte toutes les exigences du Reglement sur le materiel brouilleur du Canada.
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。



警告

- ・ 幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- ・ プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- ・ てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- ・ 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- ・ 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- ・ 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- ・ 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- ・ 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- ・ 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- ・ その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- ・ 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2022

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC 通告

本装置は、FCC 規則パート 15 に準ずるクラス A のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、装置が商業環境で操作されたときに有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、取扱説明書に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

住宅地で本装置を操作すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス A デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

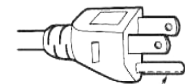
- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)



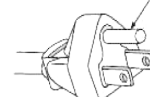
廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

注意事項: この装置には、3 ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。このプラグは、接地タイプの電源コンセントにのみ適合します。これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。接地プラグの目的を無効にしないでください。



取り外さないでください



警告: 電源プラグのアースピンを取り外さないでください。この装置には、3 枝アースタイプの電源プラグが装備されています。このプラグは、アースタイプの電源コンセントにのみ適合します。これは安全機能です。プラグを電源コンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。アースプラグの目的を無効にしないでください。

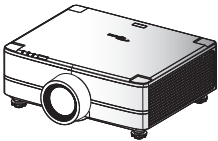
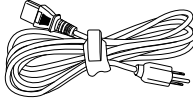
はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ

			☒ 保証書(*) ☒ クイックスタートユーザー マニュアル
プロジェクター	リモコン	AC 電源コード	文書

注:

- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- (*) 欧州の保証情報については、www.optoma.com にアクセスしてください。



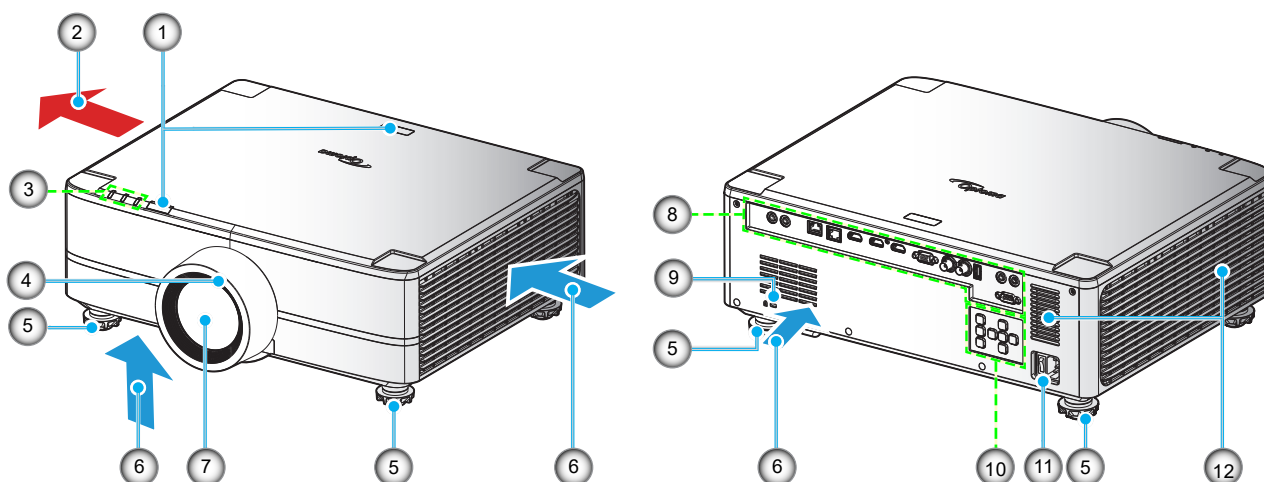
OPAM 保証の QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください:
<https://www.optoma.com/us/support/warranty-and-return-policy/>



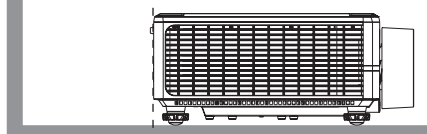
アジア太平洋地域の QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください:
<https://www.optoma.com/support/download>

はじめに

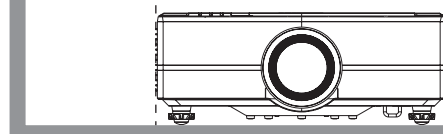
製品の各部名称



最小 500mm
(19.69 インチ)



最小 500mm
(19.69 インチ)



最小 500mm
(19.69 インチ)

注:

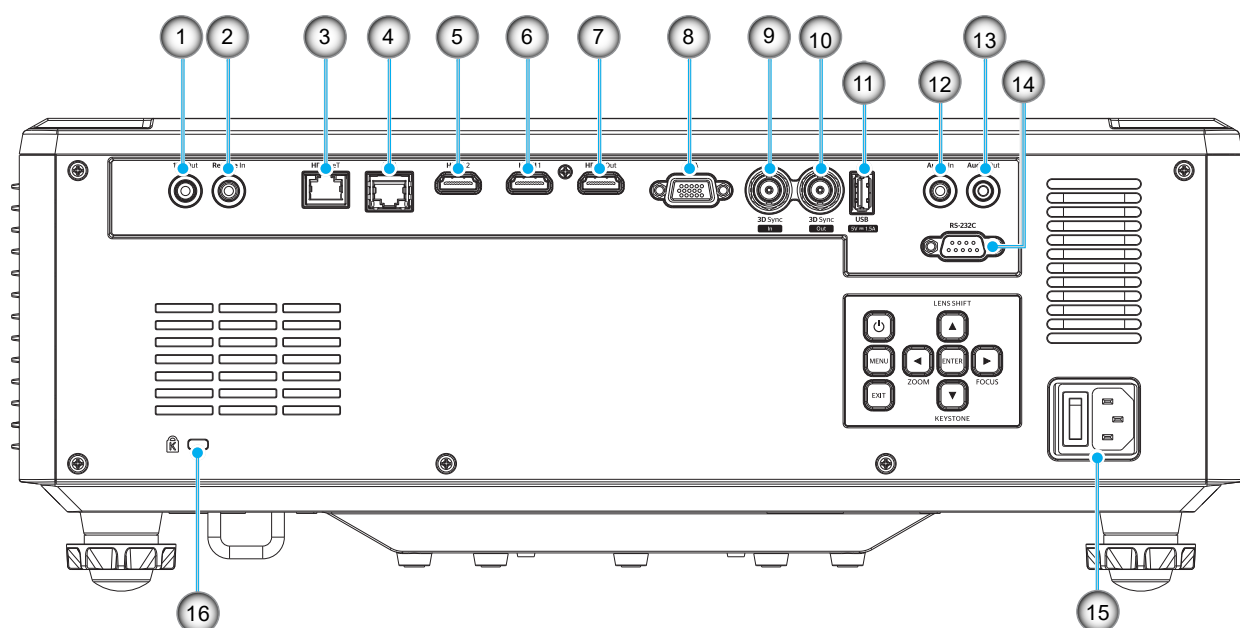
- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 500mm (19.69 インチ) 隙間をあけてください。

番号	項目
1.	IR レシーバー
2.	換気 (排気口)
3.	LED インジケーター
4.	デコリング (1.6x レンズ/1.26x レンズモデル)
5.	チルト調整フット
6.	換気 (吸気口)

番号	項目
7.	投影レンズ
8.	入/出力
9.	Kensington™ ロックポート
10.	コントロールパネル
11.	電源ソケット/電源スイッチ
12.	スピーカー

はじめに

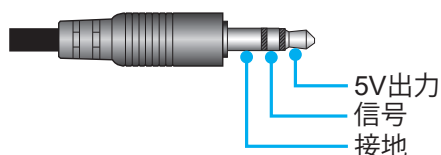
接続



番号	項目	ケーブル	接続例 ¹
1.	12V 出力端子	12V トリガケーブル	電動スクリーン、カーテンなど
2.	リモコン入力端子	有線リモコンケーブルまたは IR レシーバーケーブル (3.5mm TRS タイプ ²)	RCU
3.	HDBaseT 端子	RJ-45 ケーブル	メディアプレイ
4.	LAN コネクタ	RJ-45 ケーブル	ローカルネットワークまたは会社のネットワーク
5.	HDMI 2 端子	HDMI ケーブル	コンピュータ、ゲーム、コンソール、メディアプレイ
6.	HDMI 1 端子	HDMI ケーブル	コンピュータ、ゲーム、コンソール、メディアプレイ
7.	HDMI 出力コネクタ	HDMI ケーブル	画面
8.	VGA 端子	VGA ケーブル	コンピュータ
9.	3D 同期入力端子	3D 同期ケーブル	コンピュータ
10.	3D 同期出力端子	3D エミッターケーブル	3D エミッター
11.	USB 端子 (電源 5V $\pm$ 1.5A) ³	USB (A - A) ケーブル	USB フラッシュドライブ
12.	オーディオ入力コネクタ	オーディオ入力ケーブル	メディアプレイ
13.	オーディオ出力端子	オーディオ出力ケーブル	スピーカー、メディアプレイ
14.	RS-232C 端子	RS232 ケーブル	コンピュータ
15.	電源ソケット/電源スイッチ	電源コード	プロジェクター
16.	Kensington™ ロックポート	保護ケーブル	プロジェクター

注:

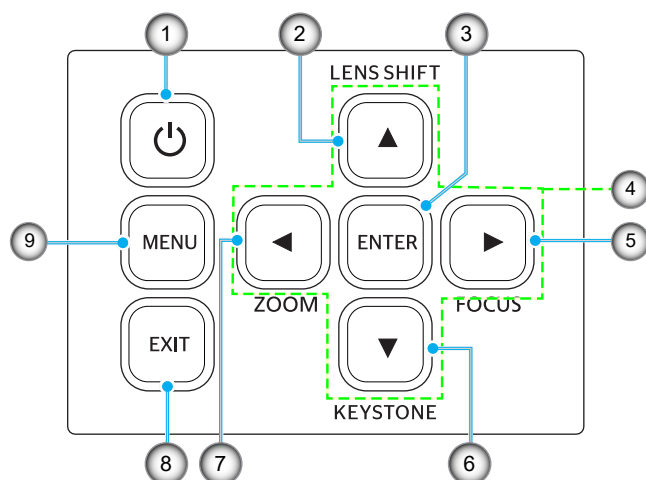
1. これらは接続できるもののほんの一例です。各ポートにはさらに多くのオプションが使用できる場合があります。
2. 3.5mm TRS タイプ。



3. 携帯電話の充電用には推奨されません。

はじめに

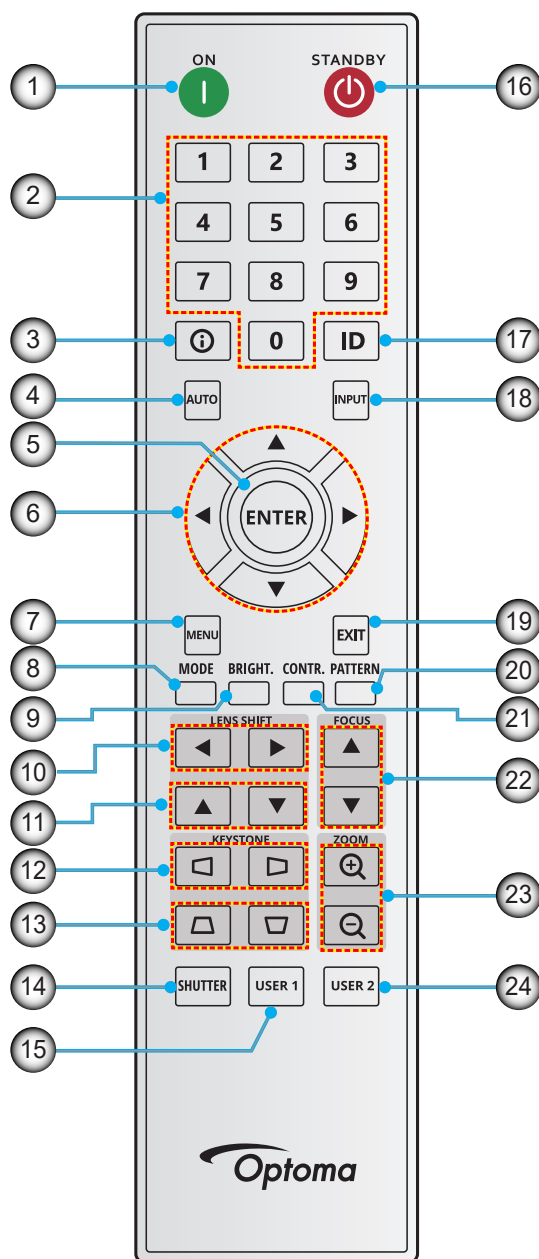
キーパッド



番号	ボタン	機能
1.	電源ボタン	プロジェクターの電源をオンまたはオフにします。
2.	レンズシフト	レンズの垂直/水平位置を調整します。
3.	入力	設定を確認します。
4.	4 方向選択キー	ナビゲーションキー。
5.	フォーカス	画像のフォーカスを調整します。
6.	キーストーン補正	キーストーン補正を調整します。
7.	ズーム	画像のサイズを調整します。
8.	戻る	前のメニューに戻るか、トップレベルの場合はメニューを終了します。
9.	メニュー	画面にメインメニューを表示します。

はじめに

リモコン



番号	ボタン	機能
1.	パワーオン	プロジェクターの電源を入れます。
2.	数字キー	数字 (0 ～ 9) を入力します。
3.	情報	画面画像に情報を表示します。
4.	自動	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
5.	入力	押して選択を確認します。
6.	矢印キー	矢印キーを使用してメニュー内を移動するか、適切な設定を選択します。
7.	メニュー	画面にメインメニューを表示します。
8.	モード	押して、プリセット表示モードを選択します。

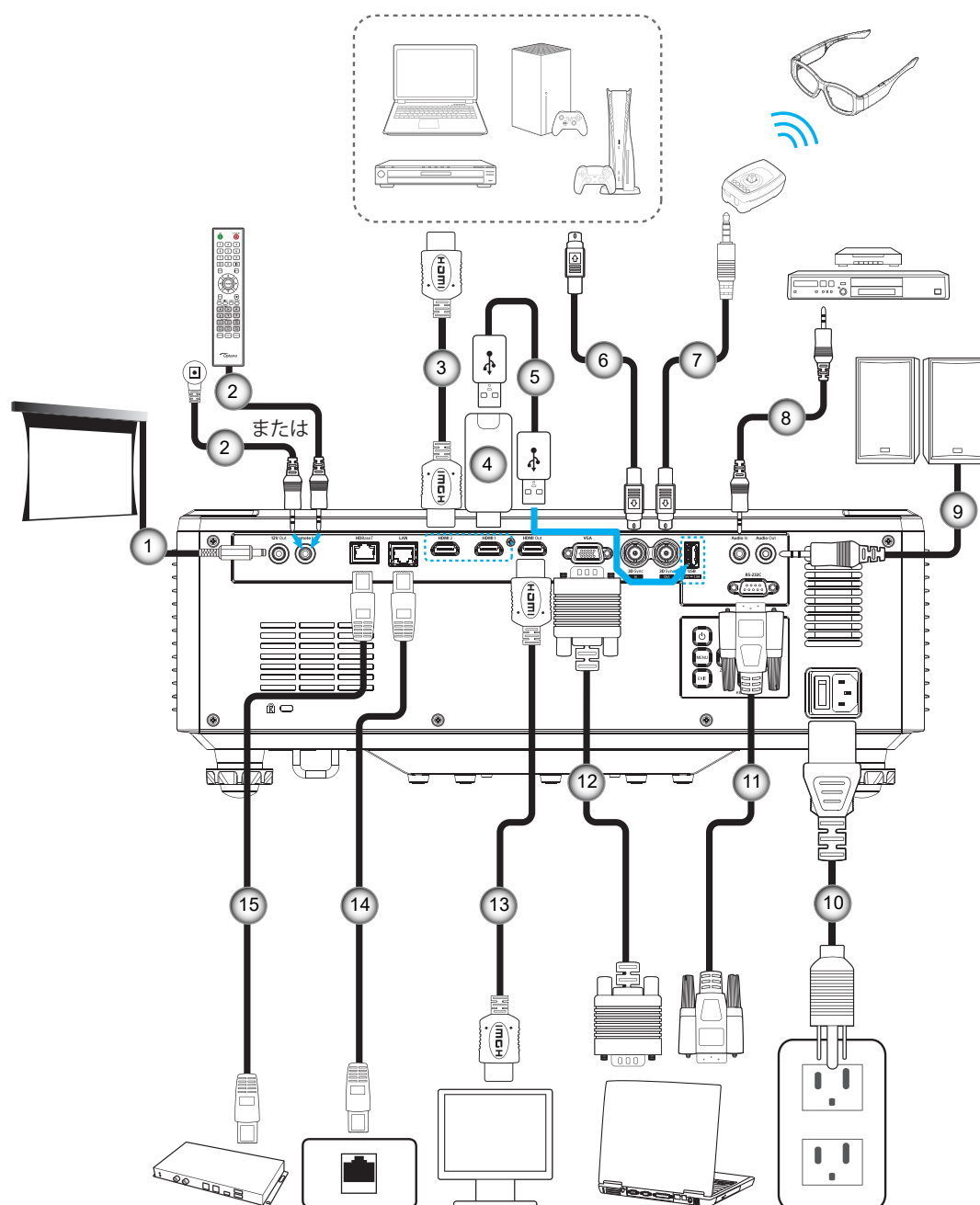
はじめに

番号	ボタン	機能
9.	輝度	画像の輝度を設定します。
10.	レンズシフト (横)	画像の水平方向の位置を調整します。
11.	レンズシフト (縦)	画像の垂直方向の位置を調整します。
12.	キーストーン (水平)	水平方向のキーストーン画像を調整します。
13.	キーストーン (垂直)	垂直方向のキーストーン画像を調整します。
14.	シャッター	画面を一時的にオフ/オンします (AV 消音)。
15.	ユーザー 1	押してカスタム機能を割り当てます。詳細については、ユーザーガイドを参照してください。
16.	スタンバイ	プロジェクターの電源を切ります。
17.	ID	プロジェクターのアドレスを設定します。
18.	入力	入力ソースを手動で選択します。
19.	戻る	前のメニューに戻ります。
20.	パターン	テストパターンを表示します。
21.	コントラスト	画像のコントラストを設定します。
22.	フォーカス	画像のフォーカスを調整します。
23.	ズーム	画像のサイズを調整します。
24.	ユーザー 2	押してカスタム機能を割り当てます。詳細については、ユーザーガイドを参照してください。

注: これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	12V DC ジャック
2.	有線リモコンケーブルまたは IR レシーバーケーブル (3.5mm TRS タイプ)
3.	HDMI ケーブル
4.	HDMI ドングル
5.	USB (A - A) ケーブル

番号	項目
6.	3D 同期ケーブル
7.	3D エミッターケーブル
8.	オーディオ入力ケーブル
9.	オーディオ出力ケーブル
10.	電源コード

番号	項目
11.	RS232 ケーブル
12.	VGA ケーブル
13.	HDMI ケーブル
14.	RJ-45 ケーブル
15.	RJ-45 ケーブル

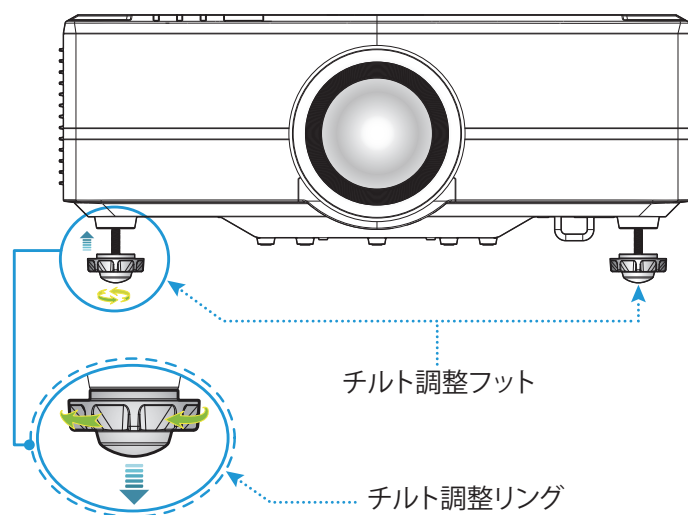
設定と設置

プロジェクターの画像を調整する

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



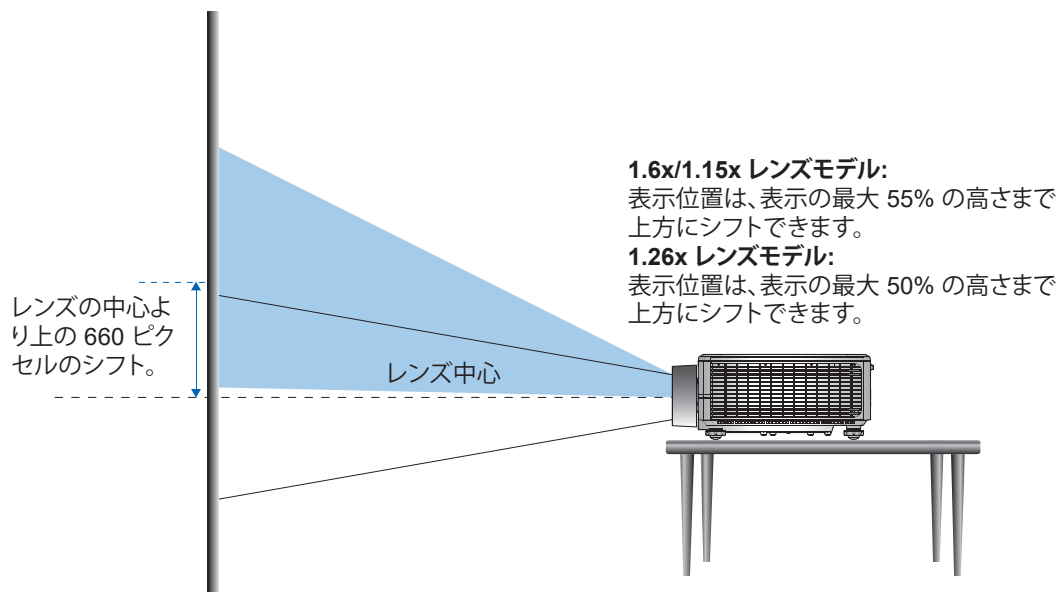
設定と設置

投影画像シフトを調整する

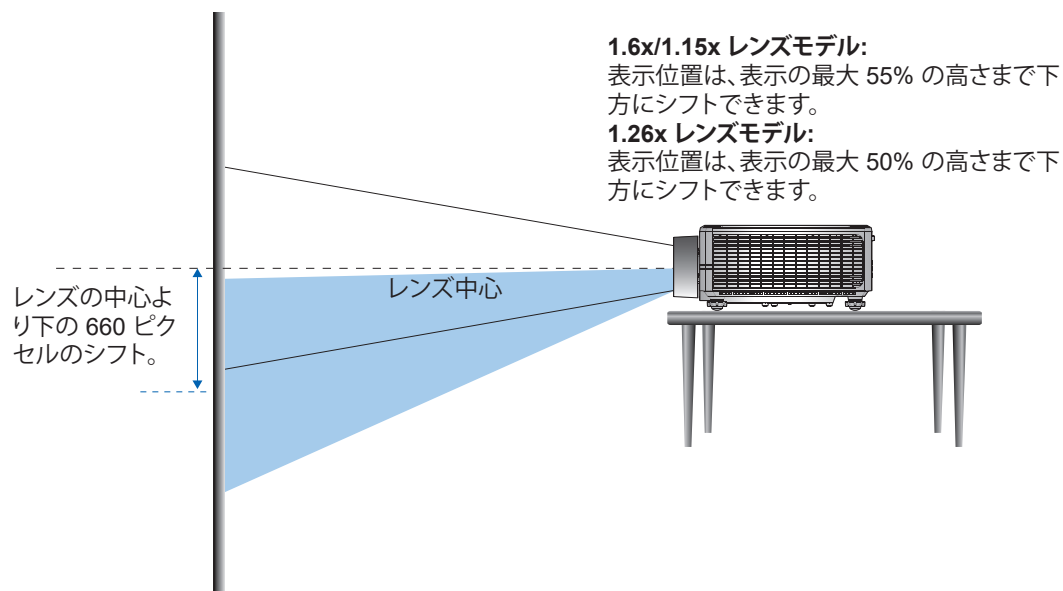
モーター駆動のレンズシフト機能により、投影レンズを上下左右に移動できます。この機能により、スクリーン上での画像の配置が容易になります。レンズシフトは通常、画像の高さまたは幅のパーセンテージとして表されます。下図を参照してください。

垂直/水平レンズシフト

レンズが上端にシフトした場合:

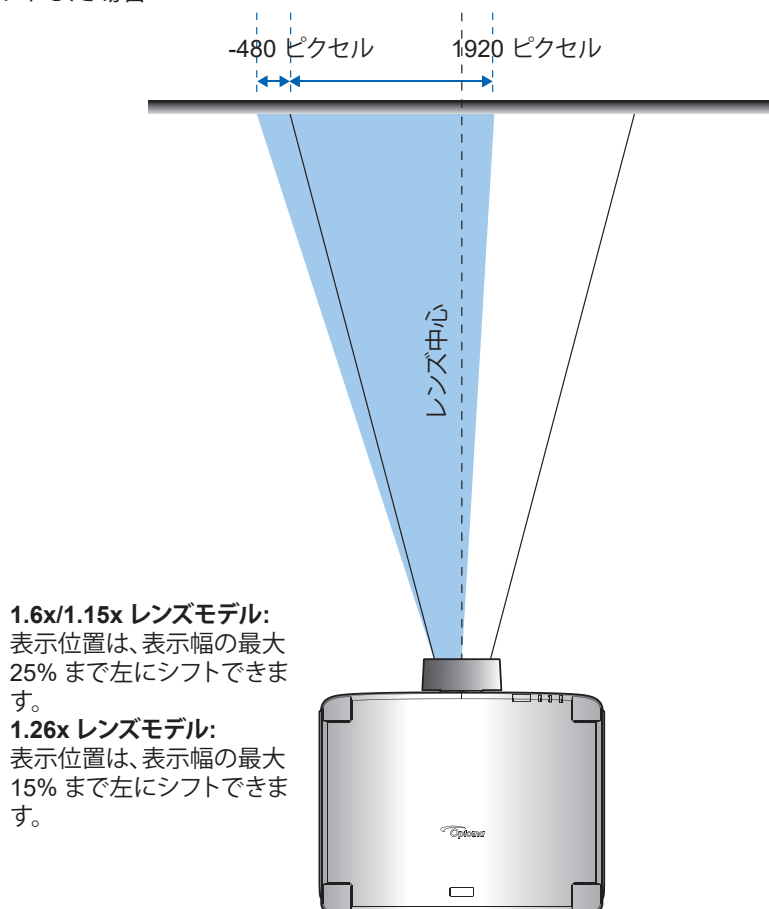


レンズが下端にシフトした場合:

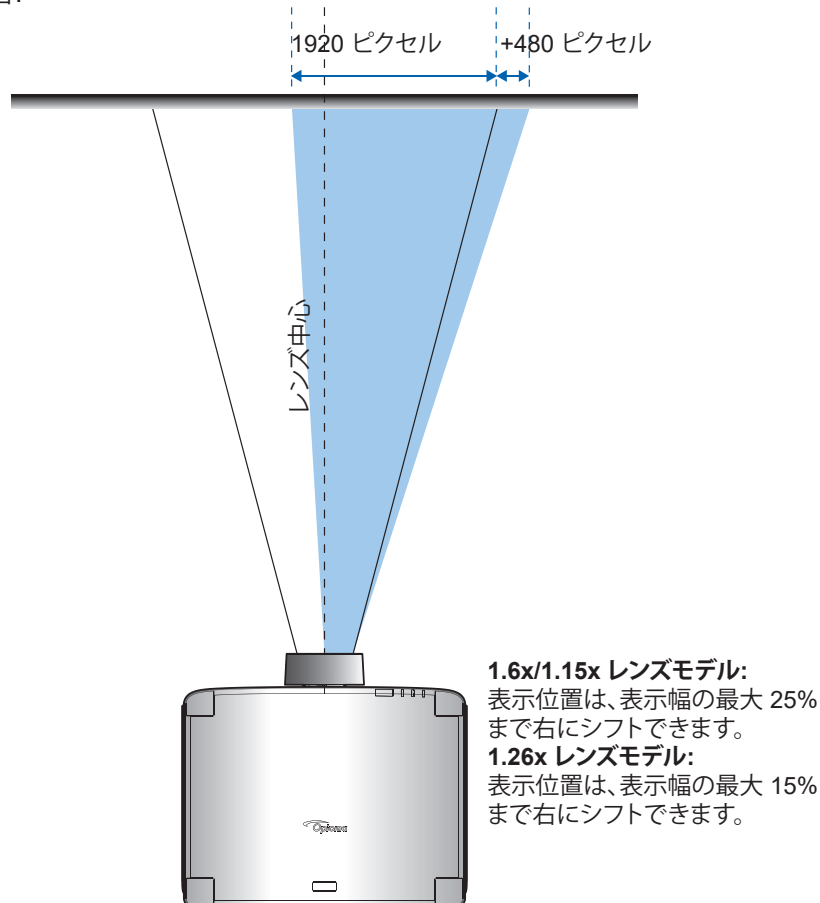


設定と設置

レンズが左端にシフトした場合:



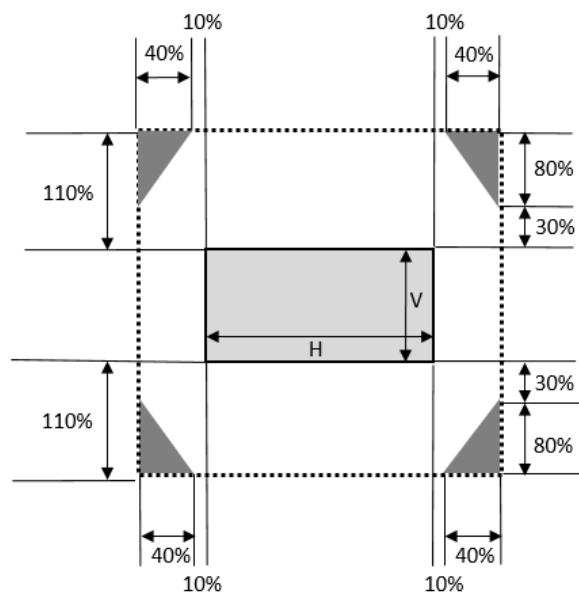
レンズが右端にシフトした場合:



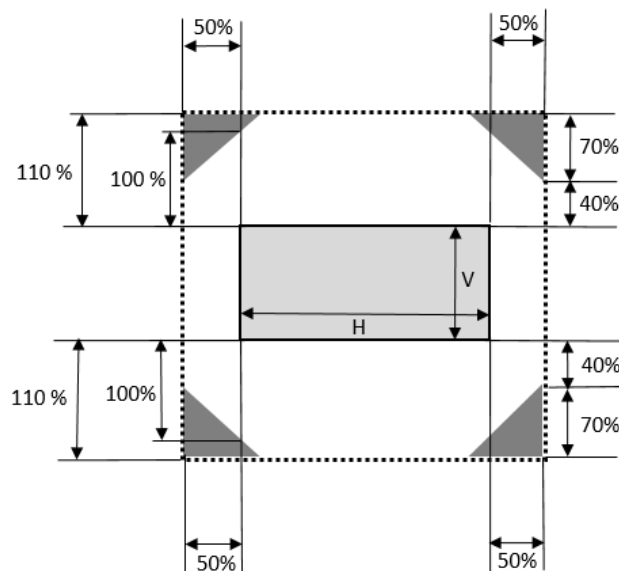
設定と設置

レンズシフト範囲

1.6x/1.15x レンズモデルのレンズシフト範囲



1.26x レンズモデルのレンズシフト範囲



注:

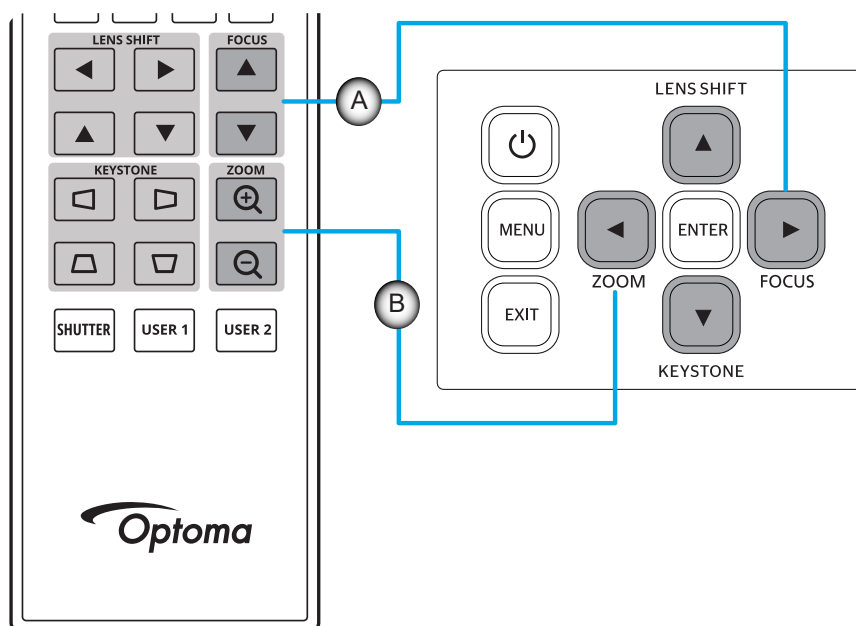
- a) ΔH : レンズが中央にあるときの水平方向のレンズシフト範囲。
- b) ΔV : レンズが中央にあるときの垂直方向のレンズシフト範囲。
- c) $\Delta H0$: レンズが上部中央または下部中央にある場合、水平方向にケラレのないレンズシフト範囲。
- d) $\Delta V0$: レンズが右中央または左中央にある場合、垂直方向にケラレのないレンズシフト範囲。
- e) V : 投影画像の高さ。
- f) H : 投影画像の幅。
- g) 投影画像。
- h) 記載の動作範囲を超えてレンズを移動すると、画面の端が暗くなったり、画像の焦点が合わなくなる場合があります。
- i) 計算は、画像の幅の 1/2 と画像の高さの 1/2 に基づいて行われます。

設定と設置

プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する

リモコンまたはプロジェクターのキーパッドを使用して、投影像のズームとフォーカスを調整します。

- 画像のフォーカスを調整するには、画像が鮮明で読みやすくなるまで「フォーカス」と ▲▼ ボタンを押します。**(A)**
- 画像サイズを調整するには、「ズーム」ボタンを押し、リモコンの 🔍 🔍 ボタンまたはキーパッドの ◀▶ を押して、必要な画像サイズに調整します。**(B)**



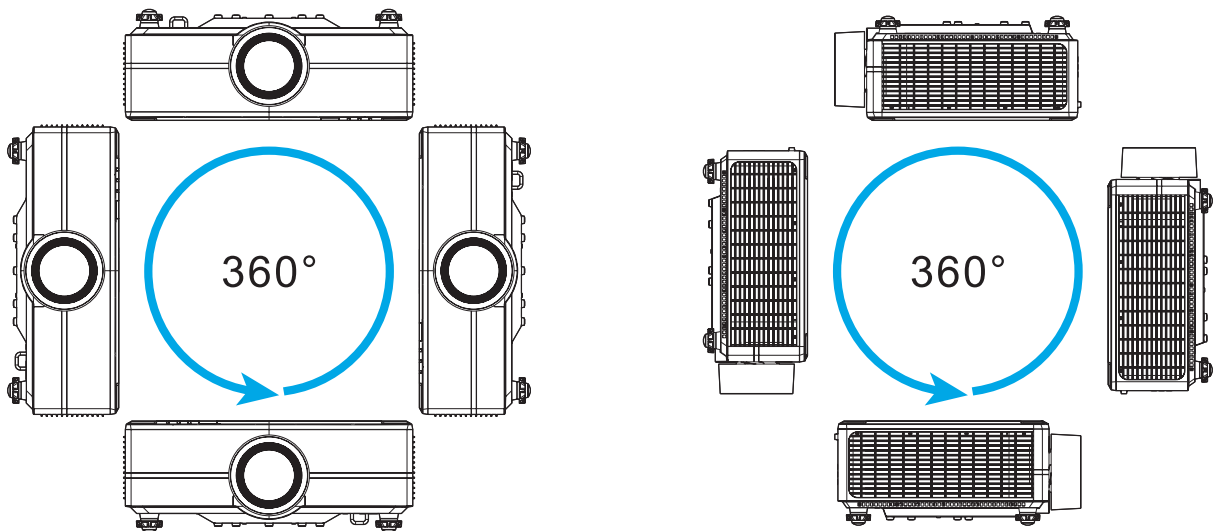
設定と設置

プロジェクターの位置を調整する

プロジェクターの設置位置を選択する場合は、スクリーンのサイズと形状、コンセントの位置、プロジェクターと残りの装置との間の距離を考慮してください。

次の一般的なガイドラインに従ってください:

- プロジェクターをスクリーンに対して直角に平らな面に置いてください。1.6x/1.15x/1.26x レンズモデルプロジェクター (標準レンズ付き) は、投影スクリーンから少なくとも 1.6x:1.33m/ 1.15x:0.69m/ 1.26x:0.81m (50 インチ) 離れている必要があります。
- プロジェクターをスクリーンから希望する距離に配置してください。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、およびビデオ形式によって、投影される画像のサイズが決まります。
- レンズスロー比:
1.6x レンズモデル: 1.25~2.0
1.15x レンズモデル: 0.65~0.75
1.26x レンズモデル: 0.75~0.95
360 度の自由方向操作。



- 複数台設置する場合は、隣り合うプロジェクターの間隔を 1000 mm (39.4 インチ) 以上あげてください。
- 天井/壁取り付けの場合は、プロジェクターの天井取り付けと下部の吸気口の間に 15 mm (0.6 インチ) を空けてください。

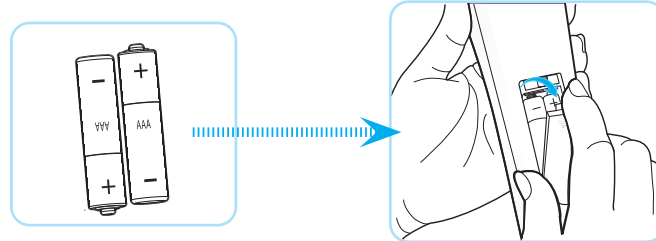
設定と設置

リモコンの準備

リモコンの電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池が同種の電池のみをご利用ください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

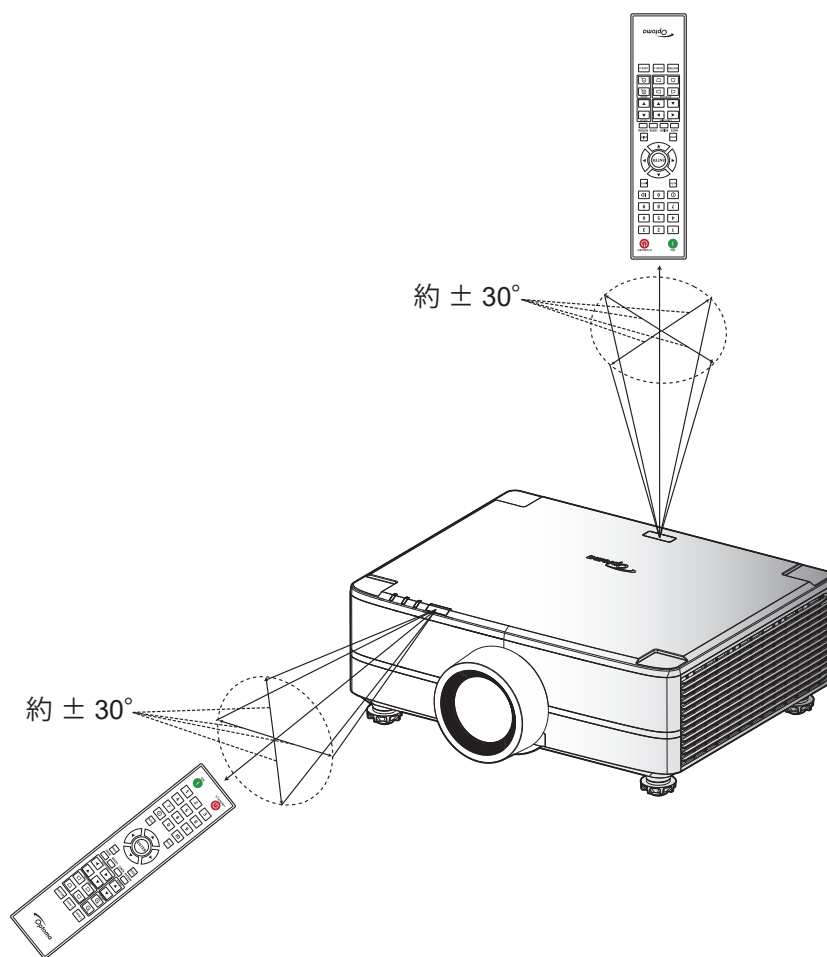
- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

設定と設置

リモコン有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、20 メートル (65.6 フィート) 以内、センサーを 0° で向ける場合は 30 メートル (98.4 フィート) 以内にしてください。

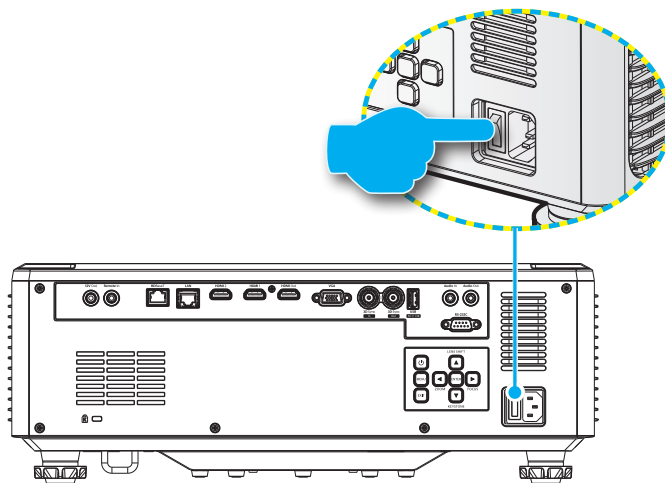
- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- プロジェクター/リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

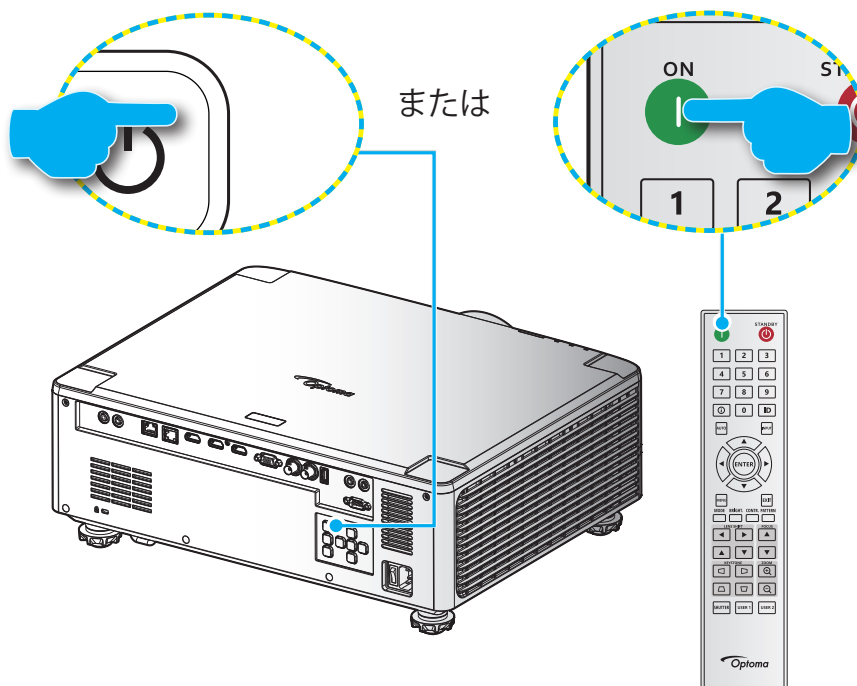


プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源オン/オフ

電源オン

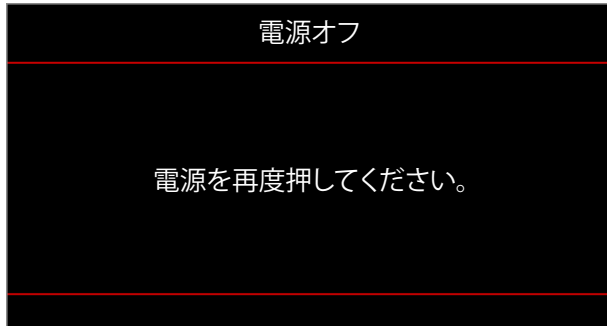
1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が赤色に点灯します。
2. 電源スイッチを「I」(オン) 位置に設定し、プロジェクターのキーパッドの「A line drawing of the back of the projector. A blue callout bubble with a hand icon points to the power switch on the right side of the back panel. The switch is currently in the 'I' (On) position.

3. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「A line drawing of the projector from a front-three-quarter view. A blue callout bubble with a hand icon points to the power button on the control panel. Another blue callout bubble with a hand icon points to the power button on the remote control. The remote control is an Optoma brand remote with various buttons and a red power button at the top. The text 'または' (or) is placed between the two callout bubbles.

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドの「」ボタンまたはリモコンの「」ボタンを押して、プロジェクターの電源を切ります。次のメッセージが表示されます。



2.  または  ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に  または  ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
3. 冷却サイクルの間、電源 LED は緑色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、プロジェクターまたはリモコンの「」ボタンを押すだけで、プロジェクターの電源が再び入ります。
4. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。

注:

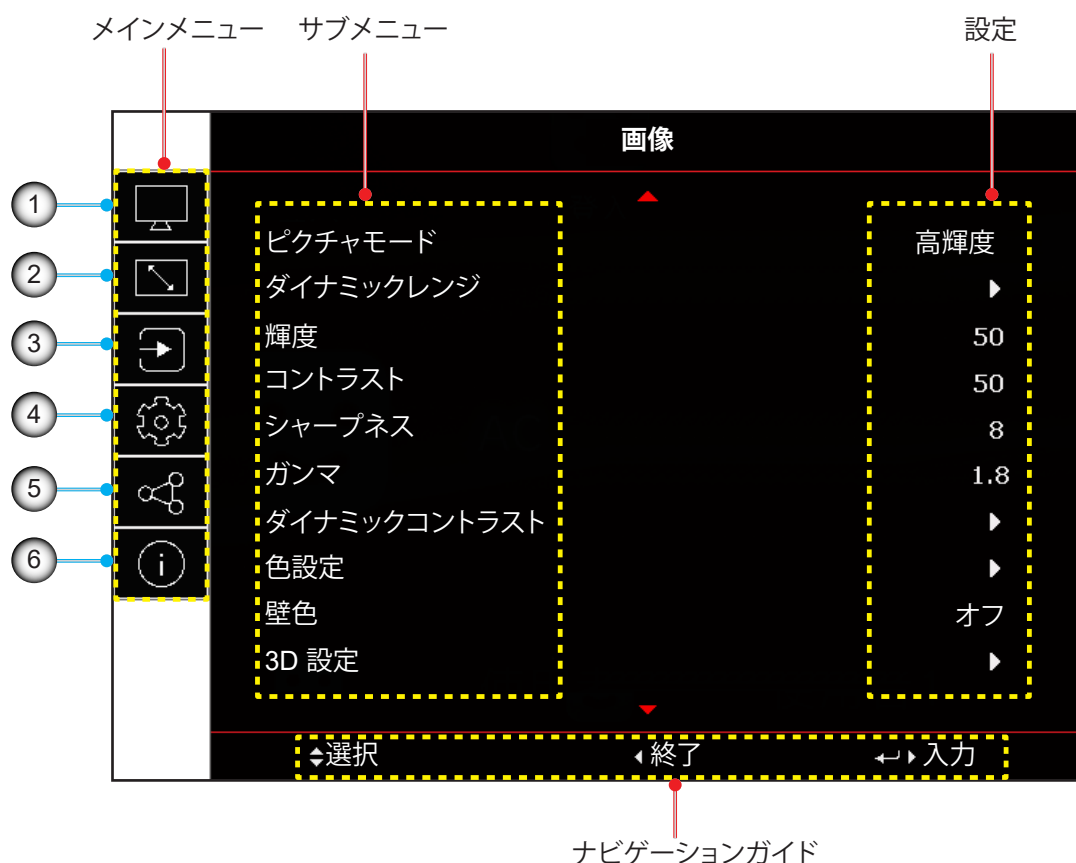
- 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。
- デフォルトでは、プロジェクターは、20 分間使用されない場合、自動的に電源が切れます。アイドル時間の長さを「自動電源オフ (分)」メニュー「システム設定 → 電源」で変更できます。代わりに、プロジェクターをスタンバイモードに移行させたい場合は、自動電源オフ機能を無効にして、スリープ時間間隔「システム設定 → 電源 → スリープタイマー (分)」で設定してください。

プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

1. OSDメニューを開くには、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押します。
2. メインメニューまたはサブメニューを選択するには、**▲▼** ボタンを使用してそれを強調表示します。次に、**Enter** ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. **戻る** ボタンを押して前のメニューに戻るか、トップレベルの場合は OSD メニューを終了します。
4. 機能値を調整するための設定方法やオプションを選択します。
 - スライダーの値を調整するには、機能を強調表示し、**◀▶** ボタンを使用して値を変更します。
 - チェックボックスをオンまたはオフにするには、機能を強調表示して **Enter** キーを押します。
 - 数字または記号を入力するには、数字または記号を強調表示し、**▲▼** ボタンを使用して選択します。リモコンまたはキーパッドの数字キーを使用することもできます。
 - 機能オプションを選択するには、**▲▼◀▶** ボタンを使用して選択します。ナビゲーションバーに **Enter** アイコンが表示されない場合は、強調表示されたオプションが自動的に適用されます。ナビゲーションバーに **Enter** アイコンがある場合は、**Enter** を押して選択を確定します。



番号	項目	番号	項目
1.	イメージメニュー	4.	デバイス設定メニュー
2.	ディスプレイメニュー	5.	通信メニュー
3.	入力設定メニュー	6.	情報メニュー

プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
画像	ピクチャモード					プレゼンテーション
						高輝度 [デフォルト]
						映画
						HDR
						sRGB
						DICOM SIM.
						ブレンディング
						3D
						2D 高速
						ユーザー
		ダイナミックレンジ	HDR			オフ
						自動 [デフォルト]
		HDRモード				高輝度
						標準 [デフォルト]
						フィルム
						詳細
輝度						0~100 [デフォルト:50]
コントラスト						0~100 [デフォルト:50]
シャープネス						1~15 [デフォルト:10]
ガンマ						フィルム
						グラフィック
						標準 (2.2)
						鮮明
						3D
						黒板
						DICOM SIM.
						1.8
						2.0
						2.4
						2.6
ダイナミックコントラスト		ダイナミックブラック				オフ [デフォルト]
						オン
		速度				1~15 [デフォルト:1]
		強度				0~3 [デフォルト:2]
		レベル				50%~100% [デフォルト:100%]
		エクストリームブラック				オフ [デフォルト]
						オン
		AV 消音タイマー				0~10 秒 [デフォルト:0 秒]
		ブラック信号レベル				0~5 [デフォルト:0]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
画像	色設定	色				0~100 [デフォルト:60]
		色合い				0~100 [デフォルト:50]
		色温度				暖色
						標準 [デフォルト]
						冷たい
		カラーホイール速度				2X
						3X [デフォルト]
		白色バランス	赤ゲイン			0~100 [デフォルト:50]
			緑ゲイン			0~100 [デフォルト:50]
			青ゲイン			0~100 [デフォルト:50]
			赤オフセット			0~100 [デフォルト:50]
			緑オフセット			0~100 [デフォルト:50]
			青オフセット			0~100 [デフォルト:50]
		白色強化				0~10 [デフォルト:10]
		色空間				自動 [デフォルト]
						RGB (0-255)
						RGB (16-235)
						REC709
						REC601
		カラーマッチング	自動テストパターン			オフ
						オン [デフォルト]
			赤色	色あい		0~254 [デフォルト:127]
				彩度		0~254 [デフォルト:127]
				輝度		0~254 [デフォルト:127]
			緑色	色あい		0~254 [デフォルト:127]
				彩度		0~254 [デフォルト:127]
				輝度		0~254 [デフォルト:127]
			青色	色あい		0~254 [デフォルト:127]
				彩度		0~254 [デフォルト:127]
				輝度		0~254 [デフォルト:127]
			シアン	色あい		0~254 [デフォルト:127]
				彩度		0~254 [デフォルト:127]
				輝度		0~254 [デフォルト:127]
			マゼンタ	色あい		0~254 [デフォルト:127]
				彩度		0~254 [デフォルト:127]
				輝度		0~254 [デフォルト:127]
			黄色	色あい		0~254 [デフォルト:127]
				彩度		0~254 [デフォルト:127]
				輝度		0~254 [デフォルト:127]
			白色	赤色		0~254 [デフォルト:127]
				緑色		0~254 [デフォルト:127]
				青色		0~254 [デフォルト:127]
			リセット			はい
						キャンセル [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
画像	壁色					オフ [デフォルト]
						黒板
						ライトイエロー
						ライトグリーン
						ライトブルー
						ピンク
						グレー
3D 設定	3D モード					オフ
						アクティブ 3D [デフォルト]
	3D 映像フォーマット					自動 [デフォルト]
						フレームパッキング
						サイドバイサイド
						トップアンドボトム
						フレームシーケンシャル
	3D 技術					DLP リンク
						3D 同期 [デフォルト]
	3D-2D					3D [デフォルト]
						左
						右
	3D 同期アウト					エミッターへ [デフォルト]
						次のプロジェクターへ
	3D 反転					オフ [デフォルト]
						オン
	フレーム遅延					1~200 [デフォルト:1]
	リセット					はい
						キャンセル [デフォルト]
ユーザーに保存						はい
						キャンセル [デフォルト]
ユーザーに適用						ユーザー-プレゼンテーション
						ユーザー-高輝度 [デフォルト]
						ユーザー-映画
						ユーザー-HDR
						ユーザー-sRGB
						ユーザー-DICOM SIM.
						ユーザー-ブレンディング
						ユーザー-3D
						ユーザー-2D 高速
リセット						はい
						キャンセル [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
ディスプレイ	アスペクト比					自動 [デフォルト]
						4:3
						16:9
						16:10
						LBX
						ネイティブ
デジタルズーム	比例					オフ [デフォルト]
						オン
		水平				50%~400% [デフォルト:100]
		垂直				50%~400% [デフォルト:100]
		水平シフト				0~100 [デフォルト:50]
		垂直シフト				0~100 [デフォルト:50]
		リセット				はい
画像シフト	水平位置					キャンセル [デフォルト]
						0~100 [デフォルト:50]
		垂直位置				0~100 [デフォルト:50]
		リセット				はい
ジオメトリ補正	ワーブ制御					キャンセル [デフォルト]
						基本 [デフォルト]
						詳細設定
	基本ワーブ	キーストン	水平			0~40 [デフォルト:20]
			垂直			0~40 [デフォルト:20]
		ピンククッション	水平			0~100 [デフォルト:50]
			垂直			0~100 [デフォルト:50]
		4 コーナー	左上			
			右上			
			左下			
			右下			
	詳細ワーブ	グリッド色				緑色 [デフォルト]
						マゼンタ
						赤色
						シアン
		グリッド背景				黒色 [デフォルト]
						透明
		ワーブ設定	グリッド ポイント			2x2 [デフォルト]
						3x3
						5x5
						9x9
						17x17
			ワーブ内部			オフ [デフォルト]
						オン
			ワーブシャープネス			0~9 [デフォルト:9]
	ブレンド設定	ブレンド幅				[デフォルト:0]
			オーバーラップグリッド番号			4 [デフォルト] / 6 / 8 / 10 / 12
			ガンマ			1.8 / 1.9 / 2.0 / 2.1 / 2.2 [デフォルト] / 2.3 / 2.4

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
ディスプレイ	ジオメトリ補正	詳細ワープ	ブラックレベル	領域		下端 [デフォルト]
						上端
				有効		オフ [デフォルト]
						オン
				領域を編集		
				ポイントを追加		
				ポイントを削除		
				輝度	輝度	
					赤色	0~255 [デフォルト:20]
					緑色	0~255 [デフォルト:20]
					青色	0~255 [デフォルト:20]
					終了	
				赤色		0~255 [デフォルト:20]
				緑色		0~255 [デフォルト:20]
				青色		0~255 [デフォルト:20]
				リセット	下端	はい
						キャンセル [デフォルト]
					上端	はい
						キャンセル [デフォルト]
					全部	はい
						キャンセル [デフォルト]
		メモリ	メモリを保存			メモリ 1 [デフォルト]~メモリ 5
			メモリを適用			メモリ 1 [デフォルト]~メモリ 5
			メモリをクリア			はい
						キャンセル [デフォルト]
		リセット				はい
						キャンセル [デフォルト]
	エッジマスク					0~10 [デフォルト:0]
	画面をフリーズ					フリーズ解除 [デフォルト]
						フリーズ
	テストパターン					オフ [デフォルト]
						緑色のグリッド
						マゼンタのグリッド
						白色グリッド
						白色
						黒色
						赤色
						緑色
						青色
						黄色
						マゼンタ
						シアン
						ANSI コントラスト 4x4
						カラーバー
						全画面表示

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
ディスプレイ	PIP/PBP	画面				オフ [デフォルト]
						PIP
						PBP
		メイン入力				VGA
						HDMI1
						HDMI2
						HDBaseT
		サブ入力				VGA
						HDMI1
						HDMI2
						HDBaseT
		スワップ				スワップ
		大きさ				小 [デフォルト]
						中
						大
		位置				PBP、メイン左 [デフォルト]
						PBP、メイン上
						PBP、メイン右
						PBP、メイン下
						PIP、右下 [デフォルト]
						PIP、左下
						PIP、左上
						PIP、右上
	リセット					はい
						キャンセル [デフォルト]
入力	オートソース					オフ
						オン [デフォルト]
	クイック再同期					オフ
						オン [デフォルト]
	アクティブ入力					VGA [デフォルト]
						HDMI1
						HDMI2
						HDBaseT
	レイテンシー調整					正常 [デフォルト]
						2D ウルトラ
	VGA	位相				0~100 [デフォルト:50]
		解像度				[読み取り専用]
	HDMI	出力				HDMI 1 [デフォルト]
						HDMI 2
		HDMI 1 EDID				1.4
						2.0 [デフォルト]
		HDMI 2 EDID				1.4
						2.0 [デフォルト]
	リセット					はい
						キャンセル [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
デバイス設定	言語					English [デフォルト]
						Deutsch
						Français
						Italiano
						Español
						Português
						Polski
						Nederlands
						Norsk
						繁體中文
						簡体中文
						日本語
						한국어
						Русский
						Magyar
						ไทย
設置モード	天吊り					自動 [デフォルト]
						オン
						オフ
	背面					オフ [デフォルト]
						オン
レンズ設定	フォーカス					[調整用のフォーカス]
						[調整用のズーム]
	ズーム					[調整用のパターン]
						[調整用のフォーカス]
	レンズシフト					[調整用のズーム]
						[調整用のパターン]
						[調整用のフォーカス]
	レンズシフトメモリ	メモリを保存				メモリ 1~メモリ 5
		メモリを適用				メモリ 1~メモリ 5
		メモリをクリア				はい
スケジュール	レンズキャリブレーション					はい
						キャンセル [デフォルト]
	レンズロック					ロック
						ロック解除 [デフォルト]
	リセット					はい
						キャンセル [デフォルト]
	日付および時刻					読み取り専用
						オフ [デフォルト]
	スケジュールモード					オン
						月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日 / 日曜日 [読み取り専用]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
デバイス設定	スケジュール	月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日 / 日曜日	スケジュール有効			オフ [デフォルト]
						オン
			イベント 01-08	時刻		00:00~23:59
				イベント 09-16	機能	
					イベント	
				(機能 = 電源設定)		パワーオン [機能 = 電源設定] / エコ / アクティブ / 通信
				(機能 = 入力ソース)		VGA [機能 = 入力ソース] / HDMI1 / HDMI2 / HDBaseT
				(機能 = 光源モード)		通常モード [機能 = 光源モード] / エコモード / カスタム輝度
				(機能 = シャッター)		シャッターオン [機能 = シャッター] / シャッターオフ
				リセット		はい
						キャンセル [デフォルト]
				イベントのコピー先		月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日 / 日曜日
			日をリセット		はい	
					キャンセル [デフォルト]	
			スケジュールをリセット		はい	
					キャンセル [デフォルト]	
		日付および時刻	クロックモード			NTP サーバーを使用 [デフォルト]
						マニュアル
			日付			2000~2037 (年) [デフォルト: 2020]
						01~12 (月) [デフォルト: 1]
						01~31 (日) [デフォルト: 1]
			時刻			00~23 (時) [デフォルト: 0]
						00~59 (分) [デフォルト: 0]
			夏時間			オフ [デフォルト]
					オン	
	NTP サーバー				time.google.com [デフォルト]	
					asia.pool.ntp.org	
				europe.pool.ntp.org		
				north-america.pool.ntp.org		
	タイムゾーン			[デフォルト: UTC+00:00]		
	更新間隔			毎時 [デフォルト]		
				日次		
	適用			はい		
				キャンセル [デフォルト]		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
デバイス設定	電源設定	電源モード (スタンバイ)				エコ
						アクティブ
						通信 [デフォルト]
						オフ [デフォルト]
		信号電源オン				オン
						0~180 分 [デフォルト:0 分]
		自動パワーオフ				0~16 時間 [デフォルト:0 時間]
		スリープタイマー				オフ [デフォルト]
		12V トリガー				オン
						はい
		リセット				キャンセル [デフォルト]
						正常 [デフォルト]
	光源設定	光源モード				エコモード
						カスタム電力
						30%~100% [デフォルト:100%]
		カスタム輝度	輝度レベル			オフ [デフォルト]
			一定輝度			オン
シャッター		フェードイン				0.5~5 秒 [デフォルト:0.5 秒]
		フェードアウト				0.5~5 秒 [デフォルト:0.5 秒]
		起動				シャッターオフ [デフォルト]
						シャッターオン
オーディオ		ミュート				オフ [デフォルト]
						オン
		音量				0~10 [デフォルト:5]
セキュリティ		セキュリティ				オフ [デフォルト]
						オン
		セキュリティタイマー	月			0~35 [デフォルト:0]
			日			0~29 [デフォルト:0]
			時			0~23 [デフォルト:0]
オンスクリーンディスプレイ		メニュー位置				左上
						右上
						中央 [デフォルト]
						左下
						右下
						0~9 [デフォルト:0]
		メニュー透明度				オフ
		メニュータイマー				5 秒
						10 秒
						15 秒 [デフォルト]
						30 秒
						60 秒
		情報を表示しない				オフ [デフォルト]
						オン
		背景				青色
						黒色
						白色
						ロゴ [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
デバイス設定	ロゴ設定	ロゴを変更				デフォルト [デフォルト]
						ニュートラル
						ユーザーロゴ
						キャプチャされたロゴ
		ロゴキャプチャ				はい
						キャンセル [デフォルト]
		ロゴを削除	キャプチャされたロゴ			はい
						キャンセル [デフォルト]
			ユーザーロゴ			はい
						キャンセル [デフォルト]
	高地モード					オフ [デフォルト]
						オン
	ユーザーデータ	すべての設定を保存				メモリ 1 [デフォルト]~メモリ 5
		すべての設定を読み込む				メモリ 1 [デフォルト]~メモリ 5
	システム更新	自動				オフ [デフォルト]
						オン
		自動ダウンロード				オフ
						オン [デフォルト]
		更新				キャンセル [デフォルト]
リセット	OSD をリセット					はい
						キャンセル [デフォルト]
		初期状態にリセット				はい
						キャンセル [デフォルト]
		選択をリセット	画像			はい
						キャンセル [デフォルト]
			ディスプレイ			はい
						キャンセル [デフォルト]
			入力			はい
						キャンセル [デフォルト]
			通信			はい
						キャンセル [デフォルト]
			設定			はい
						キャンセル [デフォルト]
通信	プロジェクター ID					0~99 [デフォルト:0]
	リモコンの準備	リモートコード				0~99 [デフォルト:0]
		クイック切り替えコード				オフ [デフォルト]
						1~9
		リモコン受光設定	フロント			オフ
						オン [デフォルト]
			上端			オフ
						オン [デフォルト]
			HDBaseT			オフ [デフォルト]
						オン

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
通信	リモコンの準備	ユーザー 1				画面をフリーズ [デフォルト]
						ブランク画面
						PIP/PBP
						アスペクト比
						情報を表示しない
						ネットワーク設定
						プロジェクター ID
						カラーマッチング
						選択をリセット
						クイック切り替えコード
						オーディオ消音
						オーディオボリューム
		ユーザー 2				画面をフリーズ
						ブランク画面
						PIP/PBP [デフォルト]
						アスペクト比
						情報を表示しない
						ネットワーク設定
						プロジェクター ID
						カラーマッチング
						選択をリセット
						クイック切り替えコード
						オーディオ消音
						オーディオボリューム
ネットワーク設定	ネットワーク設定	LANインターフェイス				RJ-45 [デフォルト]
						HDBaseT
		MACアドレス				[読み取り専用]
		ネットワーク情報				[読み取り専用] 接続
						[読み取り専用] 切断
		DHCP				オフ [デフォルト]
						オン
		IP アドレス				[デフォルト:192.168.0.100]
		サブネットマスク				[デフォルト:255.255.255.0]
		ゲートウェイ				[デフォルト:192.168.0.51]
		DNS				[デフォルト:0.0.0.0]
		適用				はい
						キャンセル [デフォルト]
		ネットワークリセット				はい
メール通知	メール通知	Email				
		Email 1				[読み取り専用]
		Email 2				[読み取り専用]
		イベント				
		ファンエラー				オフ [デフォルト]
						Email
		電源オン/オフ				オフ [デフォルト]
						Email

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
通信	メール通知	ビデオ喪失				オフ [デフォルト]
						Email
		レーザー				オフ [デフォルト]
						Email
	コントロール	リセット				はい
						キャンセル [デフォルト]
		クレストロン				オフ
						オン [デフォルト]
		IP アドレス				[デフォルト:192.168.0.2]
		IP ID				2~255 [デフォルト:5]
		ポート				0~65535 [デフォルト:41794]
		クレストン設定の適用				はい
						キャンセル [デフォルト]
		PJ リンク				オフ
						オン [デフォルト]
		認証				オフ [デフォルト]
						オン
		パスワード				[読み取り専用]
		サービス				[デフォルト:192.168.0.3]
		PJ Link 設定の適用				はい
						キャンセル [デフォルト]
		エクストロン				オフ
						オン [デフォルト]
		AMX				オフ
						オン [デフォルト]
		Telnet				オフ
						オン [デフォルト]
		HTTP				オフ
						オン [デフォルト]
		リセット				はい
						キャンセル [デフォルト]
通信速度	シリアルポート入力					1200
						2400
						4800
						9600
						19200
						38400
						57600
						115200 [デフォルト]
	リセット					はい
						キャンセル [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
情報	デバイス	規制				
		シリアル番号				
		投影時間				
	システムステータス	スタンバイモード				
		光源モード				
		光源使用時間				
		合計時間				
		正常				
		エコモード				
		カスタム電力				
		周囲温度				
		温度				
		プロジェクター ID				
通信	通信	リモートコード				
		ネットワーク				
		LANインターフェイス				
		MACアドレス				
		ネットワーク情報				
		DHCP				
		IP アドレス				
		サブネットマスク				
		ゲートウェイ				
		DNS				
		コントロール				
		クレストロン				
		エクストロン				
		PJ リンク				
		AMX				
		Telnet				
		HTTP				
		入力信号				
信号	信号	解像度				
		信号形式				
		ピクセルクロック				
		水平リフレッシュ				
		垂直リフレッシュ				
		色空間				
		ピクチャモード				
		2 番目の信号				
		解像度				
		信号形式				
		ピクセルクロック				
		水平リフレッシュ				
		垂直リフレッシュ				
		色空間				

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6	値
情報	ファームウェアバージョン	メインバージョン				
		I-SCALER バージョン				
		F-MCU バージョン				
		M-MCU バージョン				
		A-MCU バージョン				
		LAN バージョン				
		フォーマッターバージョン				
		HDBaseT バージョン				
		カメラのバージョン				

プロジェクターを使用する

イメージメニュー

画像設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- ピクチャモード
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- ダイナミックコントラスト
- 色設定
- 壁色
- 3D 設定

ピクチャモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

プレゼンテーション

このモードは、PC に接続した状態でオーディエンスに公開する場合に適しています。

高輝度

PC 入力に対する最大輝度。

映画

映画を見るために最適な色を提供します。

HDR

ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が自動的に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。

sRGB

標準化された正確なカラー。

DICOM SIM.

このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。

ブレンディング

複数台のプロジェクターを使用する場合、このモードは目に見えるバンディングを除去し、スクリーン全体に 1 つの明るく高解像度の画像を作成できます。

3D

3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意し、ご使用の PC /ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを備わっており、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

2D 高速

2D 高速モードのステータスを表示します。

ユーザー

ユーザー設定を保存します。

プロジェクターを使用する

注:

- 3D モードが選択されているときは、プレゼンテーション、高輝度、映画、HDR、sRGB、DICOM SIM.、ブレンディング、2D 高速 モードは利用できません。
- 2D 高速 モードが選択されているときは、プレゼンテーション、高輝度、映画、HDR、sRGB、DICOM SIM.、ブレンディング、3D モードは利用できません。
- ブレンディング モードが選択されているとき、HDR、3D、2D 高速 は利用できません。

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

注: HDMI のみがダイナミックレンジ機能をサポートします。

HDR (ハイダイナミックレンジ)

- **オフ:** HDR 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR コンテンツを復号しません。
- **自動:** HDR 信号を自動検出します。

HDRモード

- **高輝度:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

フィルム

ホームシアター用。

グラフィック

PC/写真ソース用。

標準 (2.2)

標準化された設定用。

鮮明

ゲームをプレイするのに最適です。このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。

3D

3D ビデオの再生に最適です。

プロジェクターを使用する

黒板

黒板への投影に最適です。

DICOM SIM.

X 線図などのモノクロ医療画像の投影に最適です。

1.8 / 2.0 / 2.4 / 2.6

特定の PC/写真ソース用。

注: ブレンディングモードが選択されている場合、ガンマ *Standard2.2* のみがサポートされます。

ダイナミックコントラスト

ダイナミック コントラストを設定して、暗いコンテンツのコントラストを最大化します。

- **ダイナミックブラック:** この機能を有効にすると、ビデオソースのコントラスト比が自動的に調整されます。光の出力を減らすことで、暗いシーンのブラックレベルを向上させます。
- **速度:** 光源補正の速度を調整します。値の範囲は 1 ~ 15 です。値が低いほど補正は遅くなり、積極的ではありませんが、値が高いほど補正は速くなります。
- **強度:** ダイナミックコントラスト調整の強度を設定します。値の範囲は 0 ~ 3 で、値が大きいほど補正が強くなります。
- **レベル:** 現在のコンテンツの輝度レベルが設定値より低くなった場合に光源を調整します。値の範囲は 50% ~ 100% です。値が大きいほど、光源を調整できる範囲が広がります。
- **エクストリームブラック:** この機能を有効にすると、黒い画像が検出されたときにレーザー光がオフになり、コントラスト比が自動的に上がります。
- **AV 消音タイマー:** 黒いコンテンツを検出した後にレーザー光が消えるようにタイマーを設定します。設定値の範囲は 0 秒 ~ 10 秒です。
- **ブラック信号レベル:** リアルブラック機能のしきい値となるブラックレベル値を設定します。値は 0% から 5% まで調整でき、0 が最も暗い黒、5 が最も明るい黒になります。

注:

- ダイナミックブラック がオンの場合、エクストリームブラック は使用できなくなります。
- ダイナミックブラック がオフの場合、速度、強度、レベル は使用できなくなります。
- エクストリームブラック がオンの場合、ダイナミックブラック、速度、強度、レベル は使用できなくなります。

色設定

投影された画像の色設定を構成して、色パフォーマンスを向上させます。

色

選択した色の彩度を調整します。この値は、色が色度図の中心の白から、または白に向かってシフトすることを示します。

色合い

ビデオ画像の赤と緑のカラーバランスを調整します。

色温度

投影された画像の色温度を調整します。利用可能なオプションは、暖色、標準 および 冷たい です。

カラーホイール速度

プロジェクターのカラーホイール速度を 2X または 3X に設定します。

白色バランス

ゲインとオフセットを介して投影画像の白色バランスを調整します。ゲインとオフセットは、グレースケールの設定に使用される各 RGB チャンネルの個別のコントロールです。ゲインは暗い部分の色を調整し、バイアスは白い部分を調整します。

- **赤色 / 緑色 / 青ゲイン:** 画像の明るい領域の色を調整します。

プロジェクターを使用する

- **赤色 / 緑色 / 青オフセット:** 画像の暗い領域の色を調整します。

白色強化

より鮮やかな色を提供しながら、画像の色の明るさを 0 から 10 までの増分で調整します。

色空間

入力信号用に特別に調整された色空間を選択します。利用可能なオプションは、自動 (デフォルト)、RGB (0-255)、RGB (16-235)、REC709 および REC601 です。

カラーマッチング

画像内の各色成分を調整して、投影された画像の色を変更します。調整可能な色には、赤色、緑色、青色、シアン、黄色、マゼンタ (R / G / B / C / Y / M) が含まれます。

- **自動テストパターン:** 調整中に特定のカラーパターンを表示する機能を有効にします。
- **R / G / B / C / Y / M:** さらに調整する色を選択します。
 - **色あい:** 選択した色の色あいを調整します。この値は、元の色からの色度図の周りの回転の度数を反映します。値の増加は反時計回りの回転を示し、値の減少は時計回りの回転を示します。
 - **彩度:** 選択した色の彩度を調整します。この値は、色が色度図の中心の白から、または白に向かってシフトすることを示します。
 - **輝度:** 選択したカラーの輝度を調整します。値を大きくすると画像が明るくなり (色に白が追加されます)、値が小さくなると画像が暗くなります (色に黒が追加されます)。
- **リセット:** 機能設定を工場出荷時設定に戻します。

注: 3D、2D 高速、または ブレンディング モードを選択すると、色温度と白色強化 は使用できなくなります。

壁色

プロジェクターの壁色を設定して、特定の壁に対して最高の色パフォーマンスを実現します。利用可能なオプションは、オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク および グレー です。

3D 設定

3D ビデオ ファイルは、左目と右目で見る異なるビューを表示し、同じシーンの 2 つのわずかに異なる画像 (フレーム) を結合します。これらのフレームが十分な速度で表示され、左右のフレームと同期した 3D メガネで見ると、視聴者の脳は別々の画像を 1 つの 3D 画像に組み立てます。3D メニューには、3D ビデオを正しく表示するために 3D 機能を設定するオプションが用意されています。

3D モード

3D 機能を有効または無効にします。

3D 映像フォーマット

3D 入力信号に適切な 3D 映像フォーマットを選択します。利用可能なオプションは、自動、フレームパッキング、サイドバイサイド、トップアンドボトム および フレームシーケンシャル です。

3D 技術

3D 同期信号の処理方法に応じて、適切な 3D 技術を選択します。

- **DLP リンク:** 3D 同期信号がプロジェクターに組み込まれた DLP Link 技術によって生成される場合は、DLP-Link を選択します。DLP Link は、DLP 3D 技術と互換性があり、3D 機能が有効になっているメガネでのみ動作します。
- **3D 同期:** 3D 同期出力信号が 3D 同期出力ポートを介してエミッターまたは別のプロジェクターに送信される場合は、3D 同期を選択します。

プロジェクターを使用する

3D-2D

3D コンテンツを 2D 画像に変換します。

- **3D:** 3D コンテンツを通常どおり再生します。
- **左:** 3D コンテンツの左の画像を再生します。
- **右:** 3D コンテンツの右の画像を再生します。

3D 同期アウト

3D 同期出力信号の伝送を設定します。

- **エミッターへ:** 3D 同期信号を 3D 同期出力ポートに接続されたエミッターに送信します。
- **次のプロジェクターへ:** 複数のプロジェクターを使用する場合、3D 同期信号を次のプロジェクターに送信します。

3D 反転

3D ビデオが正しく表示されない場合に、この機能を使用して 3D の左右のフレームを反転します。

フレーム遅延

プロジェクターのフレーム遅延値を設定して、与えられた 3D 信号と実行された結果の間の時間差を補正します。

リセット

機能設定を工場出荷時設定に戻します。

注: 2D 高速 または ブレンディング モードが選択されている場合、3D 技術、3D-2D、3D 同期アウト、3D 反転、フレーム遅延 は使用できません。

ユーザーに保存

画像設定をユーザーモードに保存します。

ユーザーに適用

画像設定を ユーザー-プレゼンテーション、ユーザー-高輝度、ユーザー-映画、ユーザー-HDR、ユーザー-sRGB、ユーザー-DICOM SIM.、ユーザー-ブレンディング、ユーザー-3D、または ユーザー-2D 高速 に適用します。

リセット

すべての画像設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

設置状況に応じて映像を適切に投影するための設定方法を説明します。

サブメニュー

- ・ アスペクト比
- ・ デジタルズーム
- ・ 画像シフト
- ・ ジオメトリ補正
- ・ エッジマスク
- ・ 画面をフリーズ
- ・ テストパターン
- ・ PIP/PBP

アスペクト比

投影される映像のアスペクト比を設定します。利用可能なオプションは、自動 (デフォルト)、4:3、16:9、16:10、LBX およびネイティブ です。自動 を選択すると、検出された画像サイズが表示されます。

- ・ **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。
- ・ **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- ・ **16:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- ・ **16:10:** このフォーマットは、ワイドスクリーンノート PC などの 16:10 入力ソース用です。
- ・ **LBX:** 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- ・ **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。

注:

- ・ **LBX モードに関する詳細情報**
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます。
- ・ 3D または 2D 高速 モードが選択されている場合、アスペクト比 は使用できません。

WUXGA スケーリングテーブル

	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
自動	- 入力ソース信号のアスペクト比を修正し、DMD 解像度を満たす高さまたは幅のいずれかにスケールアップします。 - ソースが 4:3 の場合、1600 x 1200 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、1920 x 1080 に自動的にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、1920 x 1200 に自動的にサイズ変更されます。				
4x3	1600 x 1200 に調整します。				
16x9	1920 x 1080 に調整します。				
16x10	1920 x 1200 に調整します。				
LBX	1920x1440 にスケーリングし、その後、中央の 1920x1200 画像を表示します。				
ネイティブ	中央に マッピング				

プロジェクターを使用する

デジタルズーム

投影された画像のサイズをデジタル調整します。

比例

画像の高さと幅を同じ比率で変更する機能を有効にします。

水平

◀ および ▶ ボタンを使用して、投影された画像の幅を変更します。

垂直

▲ および ▼ ボタンを使用して、投影された画像の高さを変更します。

水平シフト

◀ および ▶ ボタンを使用して、画像の水平方向のシフトを調整します。

垂直シフト

▲ および ▼ ボタンを使用して、画像の垂直方向のシフトを調整します。

リセット

デジタルズーム設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

注: 3D または 2D 高速 モードが選択されている場合、デジタルズーム は使用できません。

画像シフト

投影された画像の位置を調整します。

水平位置

◀ および ▶ ボタンを使用して、投影された画像の位置を水平方向に調整します。

垂直位置

▲ および ▼ ボタンを使用して、投影された画像の位置を垂直方向に調整します。

リセット

画像シフト設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

注: 3D または 2D 高速 モードが選択されている場合、画像シフト は使用できません。

ジオメトリ補正

ジオメトリ設定を構成して、さまざまな投影面に合わせて画像の形状を変更します。

ワープ制御

ジオメトリ設定を構成して、さまざまな投影面に合わせて画像の形状を変更します。

- **基本:** キーストーン、ピンクッション、4 コーナーの設定を構成します。
- **詳細設定:** グリッド色、グリッド背景、ワープ設定、ブレンド設定、ブラックレベルを構成します。
- **AP:** ワープおよびブレンドソフトウェアツールを使用してプロジェクターを制御します。ソフトウェアワープおよびブレンドコントロールが有効になっている場合、プロジェクターの内蔵ジオメトリ機能は無効になります。

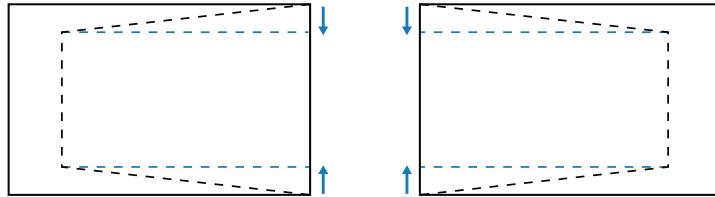
プロジェクターを使用する

基本ワープ

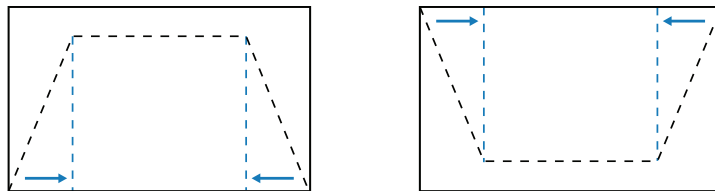
基本ワープ設定を構成します。

注: 詳細設定またはワープ制御のAPモードが選択されている場合、キーストン、ピンクッション、4 コーナーは使用できません。

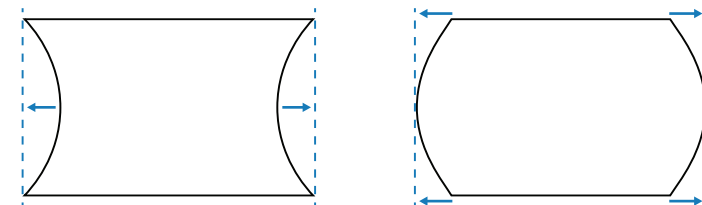
- **キーストン:** キーストン機能は、非対称の長方形の形状の画像を調整するために使用されます。
 - **水平:** 投影された画像の左辺と右辺を調整して、均等な長方形にします。左右が不均等な画像に使用します。



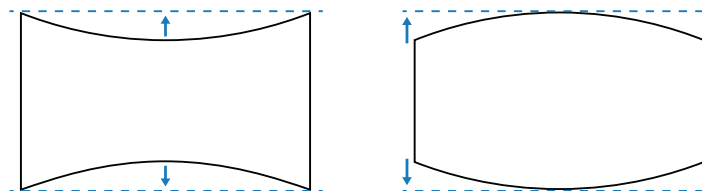
- **垂直:** 投影された画像の上辺と下辺を調整して、均等な長方形にします。上下が不均等な画像に使用します。



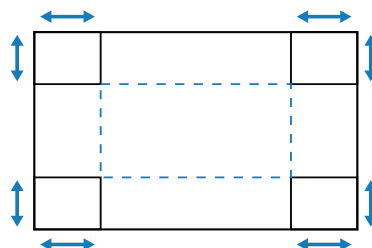
- **ピンクッション:** ピンクッション機能は、樽型または糸巻き型の歪みのある画像を調整するために使用されます。
 - **水平:** 投影された画像の水平樽型または糸巻き型歪みを補正します。



- **垂直:** 投影された画像の垂直樽型または糸巻き型歪みを補正します。



- **4 コーナー:** 画像の 4 つのコーナーを移動して、特定の投影面にフィットするように画像の形状を変更します。



プロジェクターを使用する

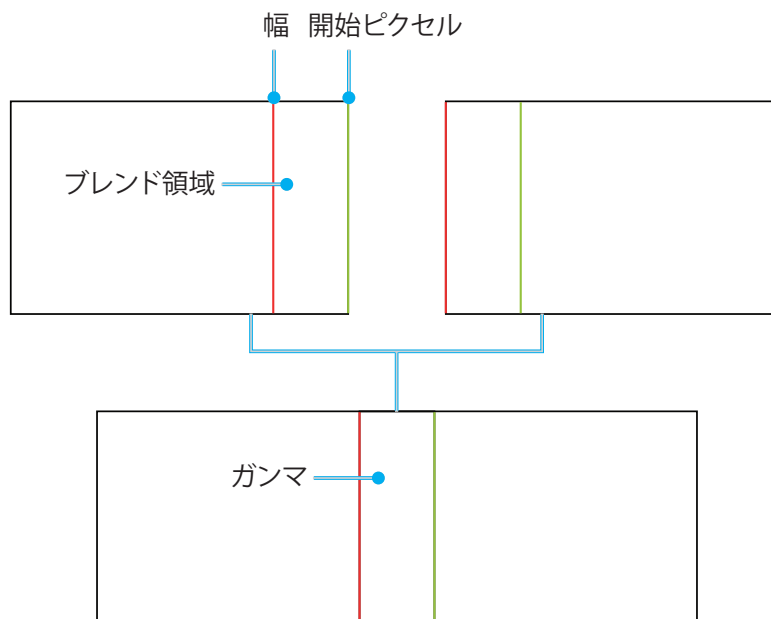
詳細ワープ

詳細ワープ設定を構成します。

注: 基本またはワープ制御のAPモードが選択されている場合、詳細ワープは使用できません。

- **グリッド色:** ワープのグリッド色を選択し、緑色、マゼンタ、赤色、シアン の間でパターンをブレンドします
- **グリッド背景:** グリッド背景を黒と透明の間で選択します。
- **ワープ設定:** ワープ設定を構成します。
 - **グリッド ポイント:** ワープパターンのグリッドポイントを設定します。オプションは次のとおりです: 2x2 (既定)、3x3、5x5、9x9、17x17 が含まれます。
 - **ワープ内部:** オンにすると、内側のグリッドが調整されます。
 - **ワープシャープネス:** グリッド線が直線から曲線に反っている場合、グリッド線は歪んでギザギザになります。線のギザギザを避けるには、ワープシャープネスを調整して画像のエッジをぼかすかシャープにします。
- **ブレンド設定:** プロジェクター上で直接ブレンド設定を構成し、2 つ以上の隣接する画像を 1 つのより大きなシームレスな画像に結合します。
 - **ブレンド幅:** ブレンドパターンの幅を設定します。
 - **オーバーラップグリッド番号:** ブレンドオーバーラップグリッド番号を設定します。
 - **ガンマ:** ブレンド領域のガンマ値を選択して、ブレンド効果の曲率を調整します。

注: 設置の柔軟性を高めるため、このデバイスのブレンディングメニューには FW 制限を適用していません。極端にワープさせようとするすると歪みが発生する場合があります。より複雑な設置の場合は、有料の歪み用の外部デバイスについて販売店にお問い合わせください。



プロジェクターを使用する

- **ブラックレベル:** 2つの画像が重なると、重なっている領域は重ならない領域とは異なって表示されることがあります。プロジェクターのブラックレベル設定を使用して、違いを目立たなくすることができます。
 - **領域:** 調整が必要な領域にマークを付けます。
 - **有効:** 選択した領域のブラックレベル調整を有効または無効にします。
 - **領域を編集:** 選択した領域のブラックレベルを変更します。
 - **ポイントを追加:** ブラックレベル調整のために最大 32 の領域コントロールポイントを追加します。
 - **ポイントを削除:** 選択した領域から少なくとも 4 つのコントロールポイントを削除します。

注: コントロールポイントを追加または削除した後、**Enter** キーを押して反時計回りに次のポイントに移動します。

- **輝度:** 選択した領域の輝度を調整します。
- **赤色/緑色/青色:** 選択した領域の各色を個別に調整します。
- **リセット:** 下部領域または上部領域、または両方の領域のブラックレベルを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

メモリ

プロジェクターでは、ユーザーはプロジェクターに直接設定されたものと外部ソフトウェアツールを介して設定されたものを含む、最大 5 つのジオメトリメモリを保存できます。利用可能なオプションは、メモリを保存、メモリを適用およびメモリをクリアです。

リセット

ジオメトリ設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

エッジマスク

エッジブレンディング機能を使用すると、投影された画像の 1 つまたは複数のエッジを非表示にすることができます。この機能を使用すると、ビデオ画像のエッジにあるビデオエンコードノイズを除去できます。

注: 3D、2D 高速、または PIP/PBP がオンの場合、エッジマスクは使用できなくなります。

画面をフリーズ

選択すると、ソースデバイスに変化があっても、表示画面が一時停止されます。

テストパターン

テストパターンを選択します。利用可能なオプションは、オフ、緑色のグリッド、マゼンタのグリッド、白色グリッド、白色、黒色、赤色、緑色、青色、黄色、マゼンタ、シアン、ANSI コントラスト 4x4、カラーバー および 全画面表示 です。

PIP/PBP

PIP/PBP (ピクチャインピクチャ/ピクチャバイピクチャ) により、2つの入力ソースからの2つの画像を同時に表示できます。

注: PIP/PBP 機能は、3D、2D 高速 モード、アスペクト比、デジタルズーム、画像シフトをサポートしていません。

画面

適切な PIP/PBP モードを選択するか、機能を無効にします。

- **オフ:** PIP/PBP モードを無効にします。
- **PIP:** 一方の入力ソースをメイン画面に表示し、もう一方の入力ソースを挿入ウィンドウに表示します。
- **PBP:** 同じサイズの 2 つの画像を画面に表示します。

メイン入力

メイン画像の入力ソースを選択します。利用可能な入力ソースは、VGA、HDMI1、HDMI2、HDBaseT です。

サブ入力

メイン画像の入力ソースを選択します。利用可能な入力ソースは、VGA、HDMI1、HDMI2、HDBaseT です。

プロジェクターを使用する

スワップ

メインソースとサブソースを入れ替えます。

大きさ

PIP モードでのサブソースの表示サイズを変更します。利用可能なオプションは、大、中 および 小 です。

位置

サブ画像の位置を調整します。以下のレイアウト図では、「P」はメイン画像を示します：

- PBP のレイアウト

PBP のレイアウト	PBP のサイズ		
	小	中	大
PBP、メイン左			
PBP、メイン右			
PBP、メイン上			
PBP、メイン下			

- PIP のレイアウト

PIP のレイアウト	PIP のサイズ		
	小	中	大
PIP、右下			
PIP、左下			
PIP、左上			
PIP、右上			

プロジェクターを使用する

注: PIP/PBP の互換性を以下の表に説明します。

PIP/PBP			メイン入力					HDBaseT
			VGA	HDMI 2		HDMI 1		
				v1.4	v2.0	v1.4	v2.0	
サブ入力	VGA		—	V	V	V	V	V
	HDMI 2	v1.4	V	—	—	V	V	V
		v2.0	V	—	—	V	V	V
	HDMI 1	v1.4	V	V	V	—	—	V
		v2.0	V	V	V	—	—	V
	HDBaseT		V	V	V	V	V	—

注:

- a) 両方の入力の帯域幅が高すぎる場合、ラインが点滅する可能性があります。解像度を下げてみてください。
- b) メイン画像とサブ画像のフレームレートの違いにより、フレームティアリングが発生する可能性があります。各入力のフレームレートを一致させるようにしてください。

リセット

すべての表示設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

入力設定メニュー

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- オートソース
- クイック再同期
- アクティブ入力
- レイテンシー調整
- VGA
- HDMI

オートソース

自動ソースが有効になっている場合、プロジェクターは入力信号を自動的に検出して選択します。入力ソースを選択したら、リモコンまたはキーパッドの入力ボタンを押して、他の利用可能なソースに切り替えます。機能が無効になっている場合、入力を押すと、アクティブ入力サブメニューが表示されます。

クイック再同期

クイック再同期機能を設定します。

アクティブ入力

ソースリストから入力信号を選択します。利用可能な入力ソースは、VGA、HDMI1、HDMI2、HDBaseT です。

レイテンシー調整

この機能を有効にすると、応答時間が短縮されます。

VGA

適切な位相と解像度を選択して、VGA ソースをセットアップします。

HDMI

プロジェクターの HDMI ポートを設定します。

出力

信号を出力する HDMI 1 または HDMI 2 ポートを設定します。

HDMI 1 EDID/HDMI 2 EDID

HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるようにプロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。

注: より良い 3D エクスペリエンスを実現するには、HDMI 1.4 を選択することをお勧めします。

リセット

すべての入力定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

デバイス設定メニュー

プロジェクターのシステム設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- 言語
- 設置モード
- レンズ設定
- スケジュール
- 日付および時刻
- 電源設定
- 光源設定
- シャッター
- オーディオ
- セキュリティ
- オンスクリーンディスプレイ
- ログ設定
- 高地モード
- ユーザーデータ
- システム更新

言語

OSD メニューの言語を選択します。利用可能な言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、ノルウェー語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、タイ語です。

設置モード

適切な投影モードを選択して、画像の方向を変更します。

天吊り

天吊り設置機能を有効にします。

背面

背面投影機能を確認します。

レンズ設定

レンズの設定を行って画質や位置を調整します。

フォーカス

▲ および ▼ ボタンを使用して、投影された画像のフォーカスを調整します。

ズーム

⊕ および ⊖ ボタンを使用して、投影された画像の大きさを調整します。

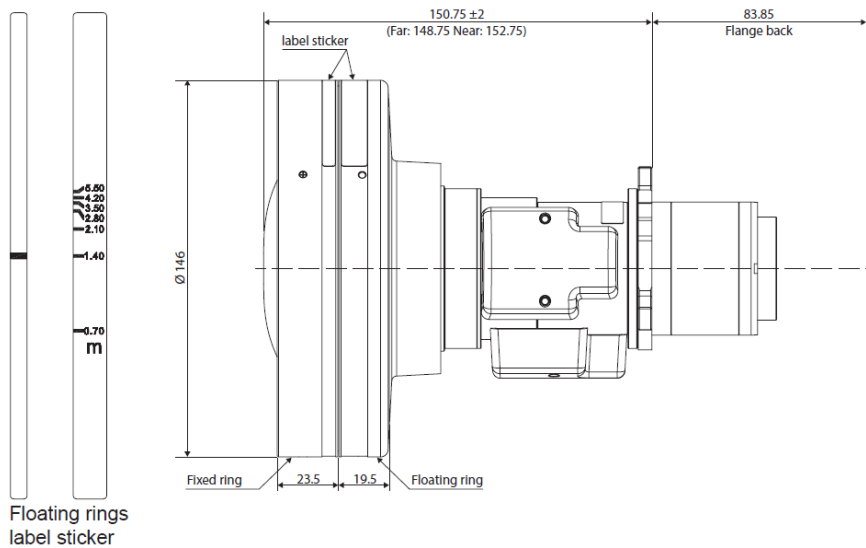
プロジェクターを使用する

レンズシフト

▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを使用してレンズの位置を調整し、投影領域を移動します。

注: BX-CTA17 フローティングリング

- 光学性能を向上させるには、ズームとフォーカスを調整する前にフローティングリングを手動で調整します。
- フローティングリングのラベルスケールは投影距離を示します。
- 投射距離はプロジェクターレンズからスクリーンまでの距離です。たとえば、スクリーンとプロジェクターレンズ間の距離が 1.4 m の場合、パフォーマンスを向上させるためにフローティングリングスケールを「1.40」に調整します。



レンズシフトメモリ

このプロジェクターは、レンズの位置を記録するレンズ設定を 5 つまで保存できます。

- **メモリを保存:** 1 ~ 5 のレコードを選択して、現在のレンズ設定を保存します。
- **メモリを適用:** 1 ~ 5 のレコードを選択してレンズ設定を適用します。
- **メモリをクリア:** 保存されているレンズのレコードをクリアします。

注:

- レンズシフトメモリを設定する前に、レンズキャリブレーションを実行してください。
- レンズキャリブレーションを実行すると、保存されたレンズのレコードが消去されます。
- レンズキャリブレーションが完了していない場合、レンズシフトメモリは使用できません。

レンズキャリブレーション

レンズ位置を調整して中心に戻します。

レンズロック

レンズモーターが動かないようにレンズをロックすると、すべてのレンズ機能が無効になります。

注: レンズロック がオンの場合、フォーカス、ズーム、レンズシフト、レンズシフトメモリ、レンズキャリブレーションは使用できなくなります。

リセット

レンズ設定を工場出荷時設定に戻します。

スケジュール

設定した時刻にプロジェクター機能が自動的に動作するようにスケジュールを設定します。

日付および時刻

プロジェクターの日付と時刻を表示します。

プロジェクターを使用する

スケジュールモード

スケジュール機能を有効または無効にします。プロジェクターが外部デバイスまたはソフトウェア経由で制御されている場合、スケジュールモードには AP モードが表示され、プロジェクターのスケジュール機能はグレー表示になります。

今すぐ表示

今日予定されているイベントリストを表示します。

月曜日～日曜日

曜日ごとにスケジュールを設定します。スケジュールメニューページで、日を選択し、スケジュール設定を構成します。

- **スケジュール有効:** 選択した日のスケジュール機能を有効または無効にします。
- **イベント 01-08:** イベントレコード番号を選択し、スケジュールの詳細を設定します。
 - **時刻:** イベントの時間を設定します。
 - **イベント:** 設定した時間になると自動で動作するイベント機能を選択します。利用可能な機能は、電源設定、入力ソース、光源モード、シャッター です。
 - **リセット:** イベント設定をリセットします。
- **その他のイベント / 以前のイベント (イベント 01-16):** さらに多くのイベント レコードを表示し、1 つを選択してスケジュールの詳細を設定します。
- **イベントのコピー先:** その日のイベント設定を別の日にコピーします。
- **日をリセット:** その日のスケジュール設定をリセットします。

スケジュールをリセット

すべてのスケジュール設定をリセットします。

日付および時刻

プロジェクターの日付と時刻を設定します。

クロックモード

クロックモードを NTP サーバーまたは手動に設定します。

注: NTP サーバーを使用するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。

日付

プロジェクターの日付を設定します。日付の形式は 年/月/日 です。

時刻

プロジェクターの時刻を設定します。

夏時間

夏時間機能を有効または無効にします。

NTP サーバー

ネットワーククロックモードの NTP サーバーを選択します。

タイムゾーン

ネットワーククロックモードのタイムゾーンを設定します。

更新間隔

日付と時刻の更新間隔を設定します。

適用

日付と時刻の変更を適用します。

注:

- クロックモードの NTP サーバーを使用 が選択されている場合、日付および時刻 は使用できません。
- クロックモードのマニュアル が選択されている場合、夏時間、NTP サーバー、タイムゾーン、更新間隔 は使用できません。

プロジェクターを使用する

電源設定

プロジェクターの電源設定を構成します。

電源モード (スタンバイ)

プロジェクターのスタンバイモードを設定します。

- **エコ:** 最小消費電力 (0.5 ワット)、ネットワーク制御を許可しません。
- **アクティブ:** 低消費電力 (< 2 ワット)、LAN モジュールがスリープ モードに入り、Wake on LAN (WoL) によるウェイクアップをサポートします。LAN モジュールが WoL によって起動されると、プロジェクターはネットワーク経由でコマンドを受信できる状態になります。
- **通信:** ネットワーク経由でプロジェクターを制御できるようになるため、消費電力が増加します。

信号電源オン

この機能をオンにすると、HDMI 入力ソースに接続されたときにプロジェクターが自動的にオンになります。これは、通信モードに設定されているスタンバイプロジェクターにのみ適用されます。

自動パワーオフ

指定した時間内に信号が検出されない場合にプロジェクターの電源が自動的にオフになるように、インターバルタイマーを設定します。◀ および ▶ ボタンを押して時間を増減します (押すごとに 1 分)。

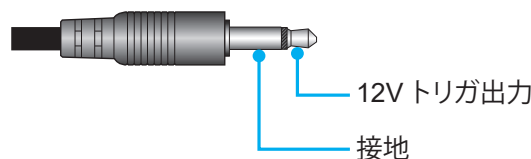
スリープタイマー

インターバルタイマーを設定すると、一定時間動作した後プロジェクターの電源が自動的に切れます。

12V トリガー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注: リレーシステム制御用に 12V 200mA (最大) を出力する 3.5 mm TS タイプミニジャック。



リセット

電源設定を工場出荷時設定に戻します。

光源設定

光源を設定してプロジェクターの輝度を制御します。

光源モード

設置要件に応じて、光源モードを選択してください。利用可能なオプションは、正常、エコモード およびカスタム電力 です。

カスタム輝度

光源モード がカスタムモードに設定されている場合、カスタム輝度レベルを設定します。画像の輝度を指定したレベルに維持するには、一定輝度を設定します。特別なアルゴリズムは、自然な輝度の減衰を補正して、画像を一定の輝度レベルに維持できるように設計されています。

- **輝度レベル:** 輝度レベルを 30% から 100% まで調整します。
- **一定輝度:** 画像の輝度を設定した輝度レベルに維持することができます。特別なアルゴリズムは、自然な輝度の減衰を補正して、画像を一定の輝度レベルに維持できるように設計されています。

注: ダイナミックブラック または エクストリームブラック がオンの場合は、光源モード の 正常 のみがサポートされます。

シャッター

シャッター動作を設定します。

フェードイン

シャッターオフ時にフェードイン効果を与える機能です。フェード効果の長さは 0.5 秒から 5 秒まで調整できます。

プロジェクターを使用する

フェードアウト

シャッターオン時にフェードアウト効果を与える機能です。フェード効果の長さは 0.5 秒から 5 秒まで調整できます。

起動

プロジェクターの電源を入れたときのシャッター動作を選択します。

- **シャッターオフ:** プロジェクターは、電源を入れると通常通りに画像を投影します。
- **シャッターオン:** プロジェクターは電源を入れると自動的にシャッターが切れます。

オーディオ

プロジェクターのオーディオを設定します。

ミュート

プロジェクターのサウンドをオフまたはオンにします。

音量

プロジェクターのオーディオボリュームレベルを調整します。

セキュリティ

プロジェクターを保護するためにセキュリティ検証を設定します。

セキュリティ

プロジェクターをパスワードで保護するには、オンを選択します。

注:

1. 初めてセキュリティ機能を使用する場合は、セキュリティ機能をオンにしたときにパスワードを入力してください。
2. セキュリティ機能を初めて使用しない場合は、セキュリティ機能が再度オンになったことを確認するために、以前のパスワードを入力してください。

セキュリティタイマー

パスワードを入力せずにプロジェクターを使用できる時間を設定します。タイマーが 0 になると、ユーザーはプロジェクターを使用するためにパスワードを入力する必要があります。プロジェクターの電源がオンになるたびに、タイマーが再スタートします。

パスワードの変更

プロジェクターのパスワードを変更します。

注: 自動パワーオフ、スリープタイマー、セキュリティタイマーを含む指定されたタイマーに達する直前に、プロジェクターが 60 秒後にシャットダウンすることを警告するオンスクリーンメッセージがポップアップ表示されます。リモコンまたはプロジェクターのキーパッドのいずれかのボタンを押してタイマーをリセットすると、プロジェクターはオンのままになります。

オンスクリーンディスプレイ

オンスクリーンディスプレイのメニューを設定します。

メニュー位置

メニューの場所を 左上、右上、中央、左下、右下 から選択します。

メニュー透明度

メニュー透明度レベルを設定します。

メニュータイマー

メニューが画面に表示される時間を設定します。

情報を表示しない

入力ソース、IP アドレスなどのコーナー情報メッセージを有効または無効にします。

背景

入力信号が検出されないときに表示する背景色を設定します。利用可能なオプションは、青色、黒色、白色 および

プロジェクターを使用する

ロゴです。

ロゴ設定

起動画面のロゴを設定します。

ロゴを変更

起動画面のロゴを変更します。デフォルトのロゴとは別に、ユーザーは デフォルト、ニュートラル、ユーザーロゴ、キャプチャされたロゴ から選択できます。

- **デフォルト:** プロジェクターのデフォルトのロゴ。
- **ニュートラル:** 起動画面にロゴが表示されません。
- **ユーザーロゴ:** Web コントロールパネルからアップロードされたユーザーロゴ。
- **キャプチャされたロゴ:** ロゴキャプチャ機能で保存されたロゴ。

注: サポートされているロゴ形式は PNG で、サイズは 1920 x 1200 ピクセルです。

ロゴキャプチャ

投影された画像の一部をキャプチャし、カスタマイズしたロゴとして保存します。

ロゴを削除

保存されているカスタマイズされたロゴ (キャプチャされたロゴ および ユーザーロゴ を含む) を削除します。

高地モード

ファン速度を上げるには、オンを選択します。画質を確保し、プロジェクターへの損傷を防ぐために、高温、高湿度、または高地の環境では高地モードを有効にしてください。

ユーザーデータ

ユーザーはプロジェクターの設定をユーザーデータとして保存し、後で設定を再読み込みできます。

- **すべての設定を保存:** プロジェクターの設定をすべてユーザーデータとして保存します。ユーザーは最大 5 件のレコードを保存できます。
- **すべての設定を読み込む:** 以前に保存したユーザーデータを読み込みます。

システム更新

システムを自動または手動で更新します。

- **自動:** システムは、インターネットに接続されるたびに、新しいアップデートがないか自動的にチェックします。
- **自動ダウンロード:** 「自動」と「自動ダウンロード」の両方がオンの場合、プロジェクターの再起動時に新しいアップデートが自動的にダウンロードされます。

注:

1. 新しいアップデートが自動的にダウンロードされる場合、プロンプトは表示されません。
 2. 電源オフボタンを押すと、ダウンロードが完了すると、アップデートを求めるメッセージがポップアップ表示されます。
 3. 更新オプションを選択して更新を開始します。
- **更新:** システムファームウェアを手動で更新します。

リセット

設定を工場出荷時設定に戻します。

- **OSD をリセット:** OSD 設定をデフォルト値にリセットします。
- **初期状態にリセット:** すべてのプロジェクター設定をデフォルト値にリセットします。
- **選択をリセット:** いずれかのメインメニューの設定をリセットします。ユーザーは、画像、ディスプレイ、入力、通信、設定 から選択できます。

プロジェクターを使用する

通信メニュー

通信メニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

サブメニュー

- プロジェクター ID
- リモコンの準備
- ネットワーク設定
- メール通知
- コントロール
- 通信速度

プロジェクター ID

プロジェクターに 00 ～ 99 の ID コードを割り当てます。RS232、Telnet、その他の制御方法でプロジェクターを制御する場合、このコードをプロジェクター ID として使用します。

リモコンの準備

赤外線 (IR) リモコンの設定を行います。

リモートコード

リモコンの ID キーを押し続けます。すべてのキーのライトが点灯したら、数字キー 00 ～ 99 を押して番号を割り当てます。すべてのキーのライトが速く 2 回点滅すると、リモコン コードが変更されました。このとき、リモコン ID キーを放してください。

クイック切り替えコード

プロジェクター間の赤外線干渉を避けるために、プロジェクターの IR 受信機能をホットキー (0 ～ 9) で一時的に無効にすることができます。リモコン ID をすべてに設定する必要があります。

注: ホットキーがオンの場合、デフォルト機能 (ダイレクトソース、ズーム/フォーカス、3D) は一時的に無効になります。

リモコン受光設定

プロジェクターと IR リモコン間の通信を制御するには、プロジェクターのリモコン受信機を設定します。

- **フロント:** 正面のリモコン受信機を有効または無効にします。
- **上端:** 上部のリモート受信機を有効または無効にします。
- **HDBaseT:** HDBaseT 端末をリモコン受信機として設定する場合は、「オン」を選択します。

ユーザー 1 / ユーザー 2

リモコンの「ユーザー1」「ユーザー2」ボタンに機能を割り当てます。OSD メニューを経由することなく、簡単に機能を使用できます。使用できる機能は、画面をフリーズ [ユーザー 1 デフォルト]、ブランク画面、PIP/PBP [ユーザー 2 デフォルト]、アスペクト比、情報を表示しない、ネットワーク設定、プロジェクター ID、カラーマッチング、選択をリセット、クイック切り替えコード、オーディオ消音、オーディオボリューム です。

ネットワーク設定

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

LAN インターフェイス

衝突を避けるには、LAN インターフェイスを RJ-45 または HDBaseT に指定します。

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにして、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を自動的に取得します。

プロジェクターを使用する

IP アドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS

プロジェクターの DNS を割り当てます。

適用

有線ネットワーク設定を適用します。

ネットワークリセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

注: DHCP がオンになっている場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS は使用できなくなります。

メール通知

プロジェクターのメール通知を設定します。

ファンエラー / 電源オン/オフ / ビデオ喪失 / レーザー

プロジェクターで ファンエラー、電源オン/オフ、ビデオ喪失、または レーザー が発生すると、メール通知がユーザーに送信されます

コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン

Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します (ポート: 41794)。

詳細については、<http://www.crestron.com> にアクセスしてください。

- **クレストン設定の適用:** クレストンの IP アドレス、IPID、ポートをセットアップします。次に、「クレストン設定の適用」を選択して変更を保存します。

PJ リンク

PJLink v1.0 コマンドでプロジェクターを制御します (ポート: 4352)。

詳細については、<http://pjlink.jbmia.or.jp/english> にアクセスしてください。

- **PJ Link 設定の適用:** PJ Link 認証、パスワード、サービスのアドレスを設定し、「PJ Link 設定の適用」を選択して変更を保存します。

エクストロン

Extron デバイスでプロジェクターを制御します (ポート: 2023)。

詳細については、<http://www.extron.com> にアクセスしてください。

AMX

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート: 9131)

詳細については、<http://www.amx.com> にアクセスしてください。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 23)

詳細については、「TelnetによるRS232コマンドの使用」(66 ページ) を参照してください。

HTTP

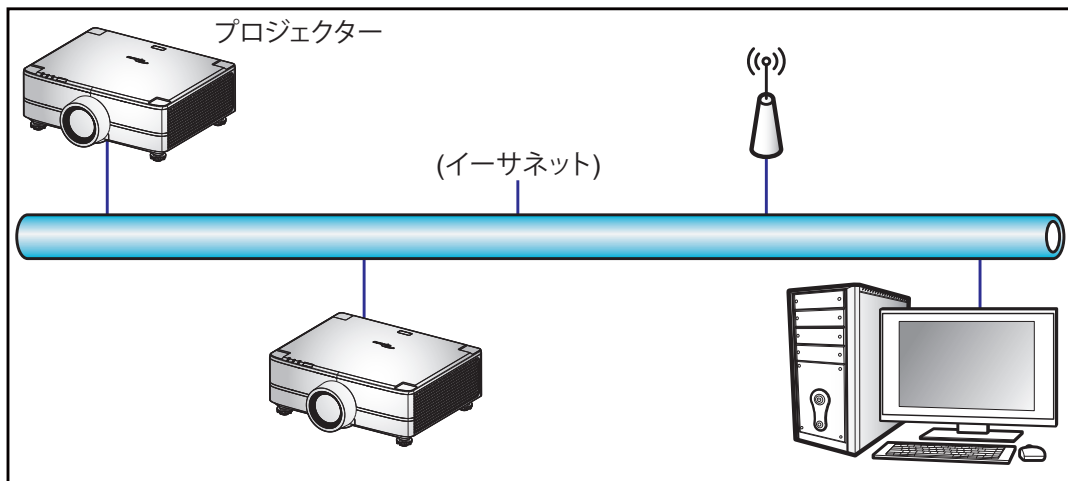
Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート: 80)

詳細については、「Webコントロールパネルの使用」(64 ページ) を参照してください。

プロジェクターを使用する

リセット

制御機能を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。



注:

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。
- LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。
- OMSC と OMSL をサポートします。詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

通信速度

シリアルポート入力とシリアルポート出力のボーレートを設定します。利用可能なオプションは、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600 および 115200 (デフォルト) です。

リセット

すべてのネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

Webコントロールパネルの使用

Web コントロール パネルを使用すると、ユーザーはパーソナルコンピュータやモバイルデバイスから Web ブラウザーを使用してさまざまなプロジェクター設定を行うことができます。

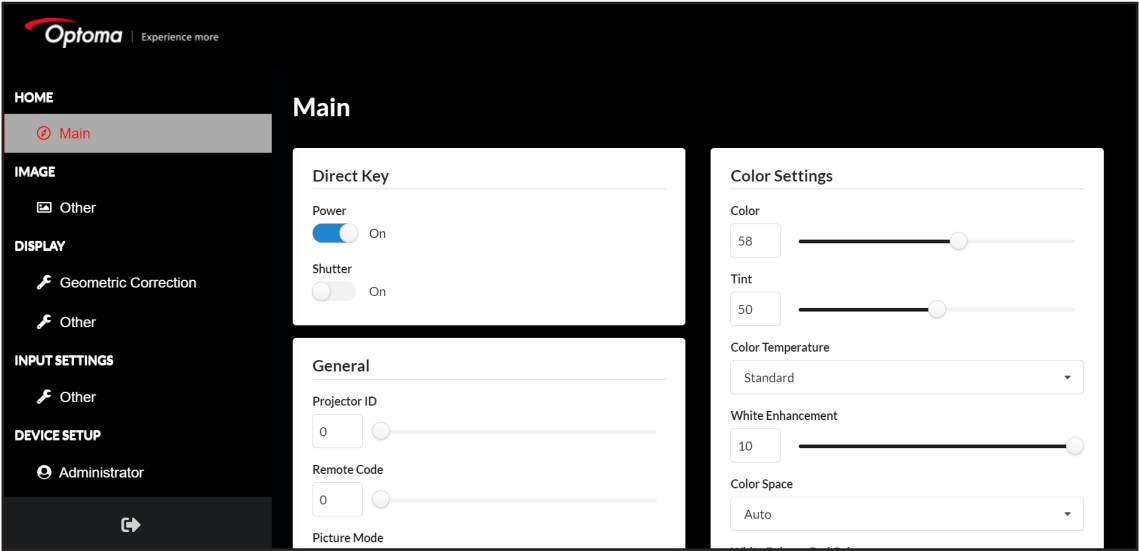
システム要件

Web コントロールパネルを使用するには、デバイスとソフトウェアが最小システム要件を満たしていることを確認してください。

- RJ45 ケーブル (CAT-5e) またはワイヤレスドングル
- Web ブラウザーがインストールされた PC、ラップトップ、携帯電話、またはタブレット
- 互換性のある Web ブラウザー:
 - Microsoft Edge 40 以降のバージョン
 - Firefox 57 以降のバージョン
 - Chrome 63 以降のバージョン

Web コントロールパネルの概要

Webブラウザを使用してプロジェクターの設定を行います。



メニュー	説明
ホーム	プロジェクター情報とファームウェアのバージョンの詳細を表示します。
画像	画像の設定を行います。
ディスプレイ	設置状況に応じて適切に画像を投影できるように設定します。
入力設定	プロジェクターの入力設定を行います。
デバイス設定	プロジェクターのシステム設定を行います。
通信	通信メニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。
情報	プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。 プロジェクター情報は読み取り専用です。

プロジェクターを使用する

Web コントロールパネルへのアクセス

ネットワークが利用可能な場合は、プロジェクターとコンピューターを同じネットワークに接続します。プロジェクターのアドレスを Web URL として使用して、ブラウザで Web コントロールパネルを開きます。

1. OSD メニューを使用してプロジェクターのアドレスを確認します。
 - 有線ネットワークでは、**通信 > ネットワーク設定 > IP アドレス** を選択します。

注: DHCP が有効になっていることを確認してください。

2. Web ブラウザーを開き、アドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力します。
3. Web ページは Web コントロールパネルにリダイレクトされます。
4. ユーザー名フィールドにユーザー名: admin を入力します (初回ログイン時)。

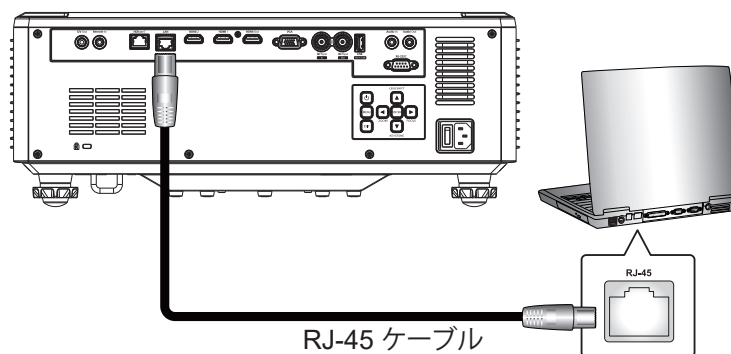
注:

- 初めてログインするときは、パスワードを入力する必要はありません。
- ログインしたら、ユーザー名とパスワードを変更する必要があります。また、強力なパスワードを使用することをお勧めします。

ネットワークが利用できない場合は、「プロジェクターをコンピューターに直接接続する」セクションを参照してください。

プロジェクターをコンピューターに直接接続する

ネットワークが利用できない場合は、RJ-45 ケーブルを使用してプロジェクターをコンピューターに直接接続し、ネットワーク設定を手動で構成します。



1. プロジェクターに IP アドレスを割り当てる
 - OSD メニューから、**ネットワーク設定 > DHCP** を選択します。
 - DHCP をオフにし、プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ を手動で設定します。
 - 「**Enter**」を押して、設定を確認します
2. コンピューターに IP アドレスを割り当てる
 - コンピューターのデフォルトゲートウェイとサブネットマスクをプロジェクターに合わせて設定します。
 - コンピューターの IP アドレスをプロジェクターの最初の 3 つの数字と一致するように設定します。たとえば、プロジェクターの IP アドレスが 192.168.000.100 の場合、コンピューターの IP アドレスを 192.168.000.xxx (xxx は 100 ではありません) に設定します。
3. Web ブラウザーを開き、アドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力します。
4. Web ページは Web コントロールパネルにリダイレクトされます。

プロジェクターを使用する

TelnetによるRS232コマンドの使用

このプロジェクターは、Telnet 接続による RS232 コマンドの使用をサポートしています。

1. プロジェクターとコンピューター間の直接接続をセットアップします。プロジェクターをコンピューターに直接接続する (65 ページ ページ) を参照してください。
2. コンピューターのファイアウォールを無効にします。
3. コンピューター上でコマンド ダイアログを開きます。Windows 7 オペレーティング システムの場合は、「スタート」>「すべてのプログラム」>「アクセサリ」>「コマンドプロンプト」を選択します。
4. コマンド「telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23」を入力します。
「ttt.xxx.yyy.zzz」をプロジェクターの IP アドレスに置き換えます。
5. コンピューターのキーボードで「Enter」を押します。

「RS232 by TELNET」の仕様:

- Telnet: TCP
- Telnet ポート: 23 (詳細についてはサービスチームにお問い合わせください)
- Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
- RS232-by-Telnet 制御の通常切断: 閉じる
- TELNET 接続の準備ができた直後に Windows Telnet ユーティリティを使用する場合の制限事項を以下に示します:
 - Telnet 制御用途に対して、連続するネットワークペイロードが 50 バイト未満とされています。
 - Telnet 制御に対して、1 つの完全な RS232 コマンドに 26 バイト未満とされています。
 - 次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) を超える必要があります。情報メニュー

情報メニュー

プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

サブメニュー

- デバイス
- システムステータス
- 通信
- 信号
- ファームウェアバージョン

追加情報

対応解像度

デジタル

HDMI 2.0		
確立されたタイミング	標準タイミング	詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	800 x 600 @ 120Hz	640 x 480 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 768 @ 120Hz	720 x 480 @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 75Hz	720 x 576 @ 50Hz
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	720 x 480i @ 60Hz
720 x 400 @ 70Hz	1360 x 765 @ 60Hz	720 x 576i @ 50Hz
720 x 400 @ 88Hz	1400 x 1050 @ 60Hz	1280 x 720 @ 50Hz
800 x 600 @ 56Hz	1600 x 1200 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz
800 x 600 @ 60Hz	1680 x 1050 @ 60Hz	1280 x 720 @ 120Hz
800 x 600 @ 72Hz		1440 x 480 @ 60Hz
800 x 600 @ 75Hz		1920 x 1080 @ 24Hz
832 x 624 @ 75Hz		1920 x 1080 @ 25Hz
1024 x 768 @ 60Hz		1920 x 1080 @ 50Hz
1024 x 768 @ 70Hz		1920 x 1080 @ 60Hz
1024 x 768 @ 75Hz		1920 x 1080 @ 120Hz
1152 x 870 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 50Hz
1280 x 1024 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 60Hz
		1920 x 1200 @ 59Hz
		3840 x 2160 @ 24Hz
		3840 x 2160 @ 25Hz
		3840 x 2160 @ 30Hz
		3840 x 2160 @ 50Hz
		3840 x 2160 @ 60Hz
		4096 x 2160 @ 24Hz
		4096 x 2160 @ 25Hz
		4096 x 2160 @ 30Hz
		4096 x 2160 @ 50Hz
		4096 x 2160 @ 60Hz

追加情報

HDMI 1.4		
確立されたタイミング	標準タイミング	詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	800 x 600 @ 120Hz	640 x 480 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 768 @ 120Hz	720 x 480 @ 60Hz
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 75Hz	720 x 576 @ 50Hz
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	720 x 480i @ 60Hz
720 x 400 @ 70Hz	1360 x 765 @ 60Hz	720 x 576i @ 50Hz
720 x 400 @ 88Hz	1400 x 1050 @ 60Hz	1280 x 720 @ 50Hz
800 x 600 @ 56Hz	1600 x 1200 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz
800 x 600 @ 60Hz	1680 x 1050 @ 60Hz	1440 x 480 @ 60Hz
800 x 600 @ 72Hz		1920 x 1080 @ 24Hz
800 x 600 @ 75Hz		1920 x 1080 @ 25Hz
832 x 624 @ 75Hz		1920 x 1080 @ 50Hz
1024 x 768 @ 60Hz		1920 x 1080 @ 60Hz
1024 x 768 @ 70Hz		1920 x 1080i @ 50Hz
1024 x 768 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 60Hz
1152 x 870 @ 75Hz		1920 x 1200 @ 59Hz
1280 x 1024 @ 75Hz		

アナログ

アナログ		
確立されたタイミング	標準タイミング	詳細タイミング
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 75Hz	1920 x 1080 @ 60Hz
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	1920 x 1200 @ 59Hz
640 x 480 @ 72Hz	1360 x 765 @ 60Hz	
640 x 480 @ 75Hz	1400 x 1050 @ 60Hz	
720 x 400 @ 70Hz	1440 x 900 @ 60Hz	
720 x 400 @ 88Hz	1440 x 900 @ 75Hz	
800 x 600 @ 56Hz	1600 x 1200 @ 60Hz	
800 x 600 @ 60Hz	1680 x 1050 @ 60Hz	
800 x 600 @ 72Hz		
800 x 600 @ 75Hz		
832 x 624 @ 75Hz		
1024 x 768 @ 60Hz		
1024 x 768 @ 70Hz		
1024 x 768 @ 75Hz		
1152 x 870 @ 75Hz		
1280 x 1024 @ 75Hz		

追加情報

True 3D ビデオ互換性

入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	入力タイミング	
		1280 x 720P @ 50Hz	トップアンドボトム
		1280 x 720P @ 60Hz	トップアンドボトム
		1280 x 720P @ 50Hz	フレームパッキング
		1280 x 720P @ 60Hz	フレームパッキング
		1920 x 1080P @ 24Hz	トップアンドボトム
		1920 x 1080P @ 24Hz	フレームパッキング
		1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド
		1920 x 1080i @ 60Hz	サイドバイサイド
		1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
		1280 x 720 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
		1280 x 800 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
		1920 x 1080P @ 60Hz	フレームシーケンシャル
		1920 x 1080P @ 120Hz	フレームシーケンシャル
		1920 x 1200 @ 60Hz	フレームシーケンシャル
		800 x 600 @ 120Hz	フレームシーケンシャル

注: 3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。

追加情報

RS232 ポート設定と信号接続

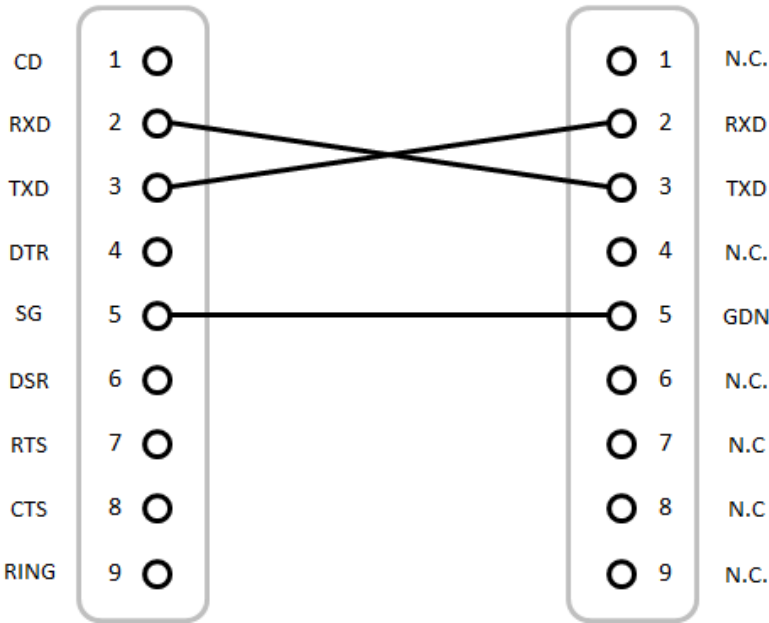
RS232 ポート設定

項目	方法
通信方法	非同期通信
通信速度	115200
データビット	8 ビット
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし

RS232 信号接続

コンピューター COM ポート
(D-Sub 9 ピン端子)

プロジェクター COM ポート
(D-Sub 9 ピン端子)



注: RS232 シェルは接地されます。

追加情報

画像サイズと投影距離

1.6x レンズモデル

投影される画像サイズは、50 ～ 300 インチ (1.27 ～ 7.62 m) です

画面サイズ 16:10 (幅 x 高さ)						投影距離			
画像の対角長さ		幅		高さ		広角		望遠	
インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m
50	1.27	42.4	1.08	26.5	0.67	52.3	1.33	84.0	2.13
60	1.52	50.9	1.29	31.8	0.81	63.1	1.60	101.2	2.57
70	1.78	59.4	1.51	37.1	0.94	74.0	1.88	118.4	3.01
80	2.03	67.8	1.72	42.4	1.08	84.8	2.15	135.6	3.44
90	2.29	76.3	1.94	47.7	1.21	95.7	2.43	152.8	3.88
100	2.54	84.8	2.15	53.0	1.35	106.5	2.71	170.0	4.32
120	3.05	101.8	2.58	63.6	1.62	128.3	3.26	204.4	5.19
150	3.81	127.2	3.23	79.5	2.02	160.8	4.09	256.0	6.50
180	4.57	152.6	3.88	95.4	2.42	193.4	4.91	307.6	7.81
200	5.08	169.6	4.31	106.0	2.69	215.1	5.46	342.0	8.69
250	6.35	212.0	5.38	132.5	3.37	269.4	6.84	428.0	10.87
300	7.62	254.4	6.46	159.0	4.04	323.7	8.22	514.0	13.06

1.15x レンズモデル

投影される画像サイズは、50 ～ 1000 インチ (1.27 ～ 25.4 m) です

画面サイズ 16:10 (幅 x 高さ)						投影距離			
画像の対角長さ		幅		高さ		広角		望遠	
インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m
50	1.27	42.4	1.08	26.5	0.67	27.0	0.69	31.3	0.79
60	1.52	50.9	1.29	31.8	0.81	32.7	0.83	37.8	0.96
70	1.78	59.4	1.51	37.1	0.94	38.4	0.98	44.4	1.13
80	2.03	67.8	1.72	42.4	1.08	44.1	1.12	50.9	1.29
90	2.29	76.3	1.94	47.7	1.21	49.8	1.27	57.5	1.46
100	2.54	84.8	2.15	53.0	1.35	55.5	1.41	64.1	1.63
120	3.05	101.8	2.58	63.6	1.62	66.9	1.70	77.2	1.96
150	3.81	127.2	3.23	79.5	2.02	84.0	2.13	96.9	2.46
180	4.57	152.6	3.88	95.4	2.42	101.2	2.57	116.6	2.96
200	5.08	169.6	4.31	106.0	2.69	112.6	2.86	129.7	3.29
250	6.35	212.0	5.38	132.5	3.37	141.1	3.58	162.5	4.13
300	7.62	254.4	6.46	159.0	4.04	169.6	4.31	195.3	4.96
350	8.89	296.8	7.54	185.5	4.71	198.2	5.03	228.1	5.79
400	10.16	339.2	8.62	212.0	5.38	226.7	5.76	260.9	6.63
500	12.7	424.0	10.77	265.0	6.73	283.7	7.21	326.5	8.29
600	15.24	508.8	12.92	318.0	8.08	340.8	8.66	392.1	9.96
700	17.78	593.6	15.08	371.0	9.42	397.9	10.11	457.8	11.63
800	20.32	678.4	17.23	424.0	10.77	454.9	11.55	523.4	13.30
900	22.86	763.2	19.39	477.0	12.12	512.0	13.00	589.0	14.96
1000	25.4	848.0	21.54	530.0	13.46	569.0	14.45	654.6	16.63

追加情報

1.26x レンズモデル

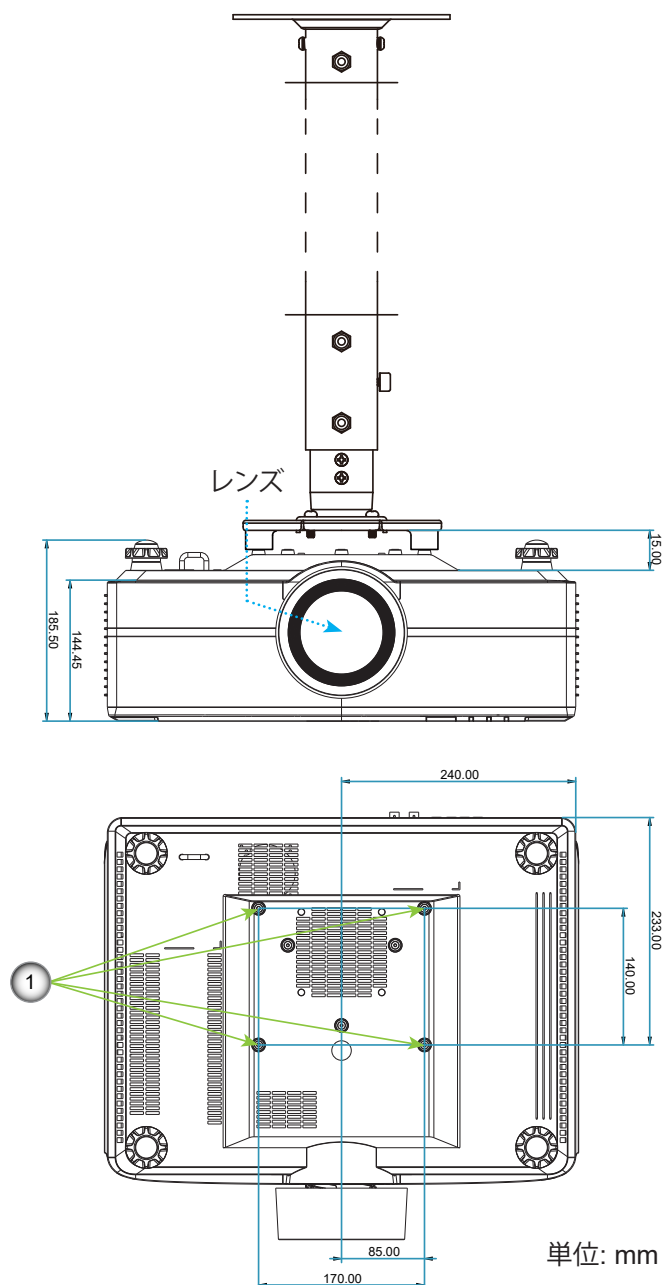
投影される画像サイズは、50 ～ 300 インチ (1.05 ～ 7.62 m) です

画面サイズ 16:10 (幅 x 高さ)						投影距離			
画像の対角長さ		幅		高さ		広角		望遠	
インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m
50	1.27	42.4	1.08	26.5	0.67	31.9	0.81	40.4	1.03
60	1.52	50.9	1.29	31.8	0.81	38.1	0.97	48.2	1.23
70	1.78	59.4	1.51	37.1	0.94	44.6	1.13	56.5	1.43
80	2.03	67.8	1.72	42.4	1.08	50.8	1.29	64.3	1.63
90	2.29	76.3	1.94	47.7	1.21	57.3	1.46	72.6	1.84
100	2.54	84.8	2.15	53.0	1.35	63.5	1.61	80.4	2.04
120	3.05	101.8	2.58	63.6	1.62	76.5	1.94	96.9	2.46
150	3.81	127.2	3.23	79.5	2.02	95.4	2.42	120.8	3.07
180	4.57	152.6	3.88	95.4	2.42	114.6	2.91	145.1	3.69
200	5.08	169.6	4.31	106.0	2.69	127.3	3.23	161.2	4.09
250	6.35	212.0	5.38	132.5	3.37	158.9	4.04	201.2	5.11
300	7.62	254.4	6.46	159.0	4.04	190.7	4.85	241.6	6.14

追加情報

天井への取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
 2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
- ネジの種類: M4*4
 - 最小ネジ長: 8 mm



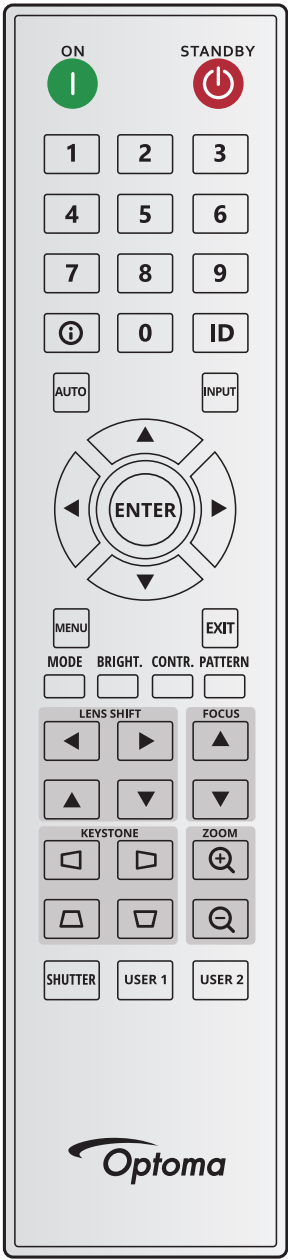
単位: mm

注:

1. 天吊り用の取り付け穴。
2. プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

追加情報

IR リモートコード



キーの凡例	キーの位置	繰り返し形式	アドレス		データ		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
オン (1)	1	F1	32	CD	2	FD	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
オフ (⏻)	2	F1	32	CD	2E	D1	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
1	3	F1	32	CD	72	8D	テンキーの [1] として使用します。
2	4	F1	32	CD	73	8C	テンキーの [2] として使用します。
3	5	F1	32	CD	74	8B	テンキーの [3] として使用します。
4	6	F1	32	CD	75	8A	テンキーの [4] として使用します。
5	7	F1	32	CD	77	88	テンキーの [5] として使用します。
6	8	F1	32	CD	78	87	テンキーの [6] として使用します。

追加情報

キーの凡例	キーの位置	繰り返し形式	アドレス		データ		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
7	9	F1	32	CD	79	86	テンキーの [7] として使用します。
8	10	F1	32	CD	80	7F	テンキーの [8] として使用します。
9	11	F1	32	CD	81	7E	テンキーの [9] として使用します。
情報 (i)	12	F1	32	CD	82	7D	押してソース画像情報を表示します。
0	13	F1	32	CD	25	DA	テンキーの [0] として使用します。
ID	14	F1	32	CD	A7	58	押してリモート ID を設定します。
自動	15	F1	32	CD	4	FB	押すと、プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
入力	16	F1	32	CD	18	E7	押して入力信号を選択します。
上 (▲)	17	F1	32	CD	0F	F0	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左 (◀)	18	F1	32	CD	11	EE	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
入力	19	F1	32	CD	14	EB	押して、項目選択を確認します。
右 (▶)	20	F1	32	CD	10	EF	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
下 (▼)	21	F1	32	CD	12	ED	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
メニュー	22	F1	32	CD	0E	F1	押して、プロジェクターのオンスクリーンディスプレイメニューを表示します。
戻る	23	F1	32	CD	2A	D5	押して、前のレベルに戻るか、トップレベルの場合はメニューを終了します。
モード	24	F1	32	CD	5	FA	押して、プリセット表示モードを選択します。
輝度	25	F1	32	CD	28	D7	押して、画像内の光の量を調整します。
コントラスト	26	F1	32	CD	29	D6	押して、明暗の差を調整します。
パターン	27	F1	32	CD	58	A7	押して、テストパターンを表示します。
レンズシフト ◀	28	F1	32	CD	41	BE	押して、画像の水平方向の位置を調整します。
レンズシフト ▶	29	F1	32	CD	42	BD	
フォーカス ▲	30	F1	32	CD	86	79	押して、フォーカスを調整し、必要に応じて画像の鮮明さを向上させます。
レンズシフト ▲	31	F1	32	CD	34	CB	押して、画像の垂直方向の位置を調整します。
レンズシフト ▼	32	F1	32	CD	32	CD	押して、画像の垂直方向の位置を調整します。
フォーカス ▼	33	F1	32	CD	26	D9	押して、フォーカスを調整し、必要に応じて画像の鮮明さを向上させます。
キーストン □	34	F1	32	CD	87	78	押して、水平キーストーンを調整します。
キーストン □	35	F1	32	CD	51	AE	押して、水平キーストーンを調整します。
ズーム ⊕	36	F1	32	CD	52	AD	押して、ズームを調整し、希望の画像サイズを実現します。
キーストン ▢	37	F1	32	CD	53	AC	押して、垂直キーストーンを調整します。
キーストン □	38	F1	32	CD	54	AB	押して、垂直キーストーンを調整します。
ズーム ⊖	39	F1	32	CD	55	AA	押して、ズームを調整し、希望の画像サイズを実現します。
シャッター (AV 消音)	40	F1	32	CD	56	A9	押して、画面の画像を非表示/再表示します。
ユーザー 1	41	F1	32	CD	57	A8	押して、ユーザー機能を割り当てます。「リモコンの準備」(23 ページ) を参照してください。
ユーザー 2	42	F1	32	CD	27	D8	押して、ユーザー機能を割り当てます。「リモコンの準備」(23 ページ) を参照してください。

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

- ❓ **スクリーンに画像が写らない**
 - すべてのケーブルと電源が、「設定と設置」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
 - 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
 - シャッター (AV 消音) 機能がオンに設定されていないか確認してください。
- ❓ **画像のピントが合っていない**
 - リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「フォーカス ▲」または「フォーカス ▼」ボタンを押して、画像が鮮明で読みやすくなるまでフォーカスを調整します。
 - 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(71 ページ **画像サイズと投影距離**を参照してください)。
- ❓ **16:10 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる**
 - アナモフィックDVDまたは 16:10 DVD を再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で 16:10 フォーマットで最高の画像を表示します。
 - 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
 - お使いの DVD プレーヤーで、16:10 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。
- ❓ **画像が大きすぎるか、小さすぎる**
 - リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「ズーム」⊕ または「ズーム」⊖ ボタンを押して、投影される画像のサイズを調整します。
 - プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
 - OSD メニューから、**ディスプレイ > アスペクト比**を選択してアスペクト比を変更します。
- ❓ **画像が横に傾く:**
 - 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
 - リモコンの「キーストーン」□□□□ ボタンを押して、画面の形状を調整します。
- ❓ **画像が反転する**
 - OSD メニューから、**デバイス設定 > 設置モード > 背面**を選択して画像を反転し、半透明のスクリーンの背面から投影できるようにします。

その他の問題

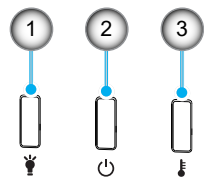
- ❓ **プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します**
 - 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

- ❓ **リモコンが作動しない場合、次を確認してください**
 - リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±30°以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 20 m (65.6 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

LED インジケータと点灯メッセージ



番号	項目
1.	ライト LED
2.	電源 LED
3.	温度 LED

ステータス	ライト LED	電源 LED		温度 LED
	赤色	赤色	緑色	赤色
スタンバイ	該当なし	点灯	該当なし	該当なし
パワーオン	該当なし	該当なし	点灯	該当なし
警告スタート	該当なし	点滅 (1 秒オフ/1 秒オン)	該当なし	該当なし
冷却開始	該当なし	該当なし	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	該当なし
AV 消音	点滅 (1 秒オフ/1 秒オン)	該当なし	点灯	該当なし
エラー (電源が異常です)	点灯	該当なし	該当なし	点灯
エラー (ファンが異常です)	該当なし	該当なし	該当なし	点滅 (3 秒オン/3 秒オフ)
エラー (カラーホイール破損)	該当なし	該当なし	該当なし	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)
エラー (過熱)	該当なし	該当なし	該当なし	点灯
エラー (LD 過熱)	該当なし	該当なし	該当なし	点灯
エラー (LD 電圧が異常です)	点灯	該当なし	該当なし	該当なし
エラー (温度センサー切断)	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	該当なし	該当なし
エラー (LD が異常です)	点灯	該当なし	点灯	該当なし
アップグレードプロセス	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)

注: プロジェクターがアップグレードプロセスに入ると 10 分間消灯し、すべての LED が点滅します (3 秒オフ / 3 秒オン)。

追加情報

仕様

光学	説明		
レンズタイプ	1.6x	1.15x	1.26x
スロー比	1.25~2.0	0.65~0.75	0.75~0.95
最大解像度	WUXGA	WUXGA	WUXGA
ズームおよびフォーカス調整	電源	電源	電源
画像サイズ (対角)	50"~300"	50"~1000"	50"~300"

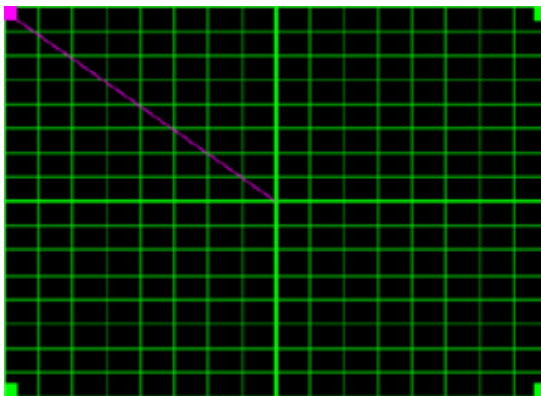
電気	説明
入力	- HDMI 1 v2.0/4K - HDMI 2 v2.0/v1.4a - VGA 入力 - 3D 同期入力 - USB Type-A x1 - オーディオ入力 3.5mm
出力	- HDMI 出力 - 3D 同期アウト - オーディオ出力 3.5mm - 12V 出力トリガ
コントロール	- 有線 IR - HDBaseT - RJ-45 (Web コントロールをサポート) - RS232
色再現	10 億 7340 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 15.38~91.15 KHz - 垂直スキャン速度: 24~85 Hz (3D 機能の場合 120 Hz)
内蔵スピーカー	2x 10W スピーカー
電力要件	100V ±10%、50/60 Hz
消費電力	- 通常モード: 520W ± 15% @ 110Vac / 505W ± 15% @ 220Vac - Eco モード: 265W ± 15% @ 110Vac / 260W ± 15% @ 220Vac
入力電流	6.5A
取り付け方向	正面、裏面、天井 - 上部、裏面 - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	1.6x レンズモデル: - 486 x 432.5 x 176.0 mm (足を除く) - 486 x 432.5 x 185.5 mm (フットを含む) 1.15x レンズモデル: - 486 x 427.5 x 176.0 mm (足を除く) - 486 x 427.5 x 185.5 mm (フットを含む) 1.26x レンズモデル: - 486 x 394.5 x 176.0 mm (足を除く) - 486 x 394.5 x 185.5 mm (フットを含む)
重さ	14 ± 0.5 Kg
環境条件	5~40℃、10%~85% 湿度 (結露なし) で動作

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

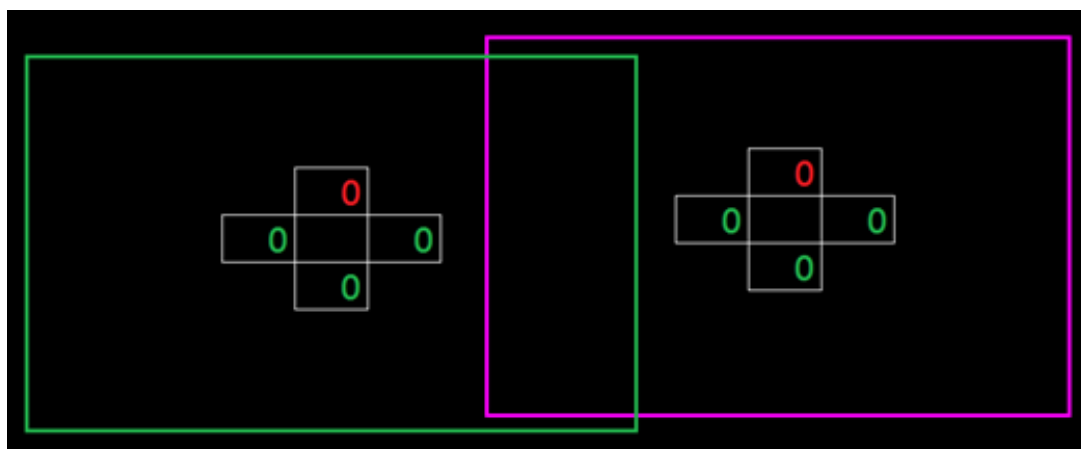
追加情報

手動ワープ制御手順

1. ワープ/ブレンド コントロールオプションを OSD オプションに切り替える必要があります。ステップ: メニュー -> 表示 -> ジオメトリ補正 -> ワープ制御 -> 詳細。
2. グリッドの色を変更すると、ワープ調整を行うとき、各プロジェクター上のグリッドの色の間を識別しやすくなります。Warp/Blend Grid Color オプションには、Green (既定)、Magenta、Red、Cyan が含まれます。ステップ: メニュー -> 表示 -> ジオメトリ補正 -> 詳細ワープ -> グリッド色。

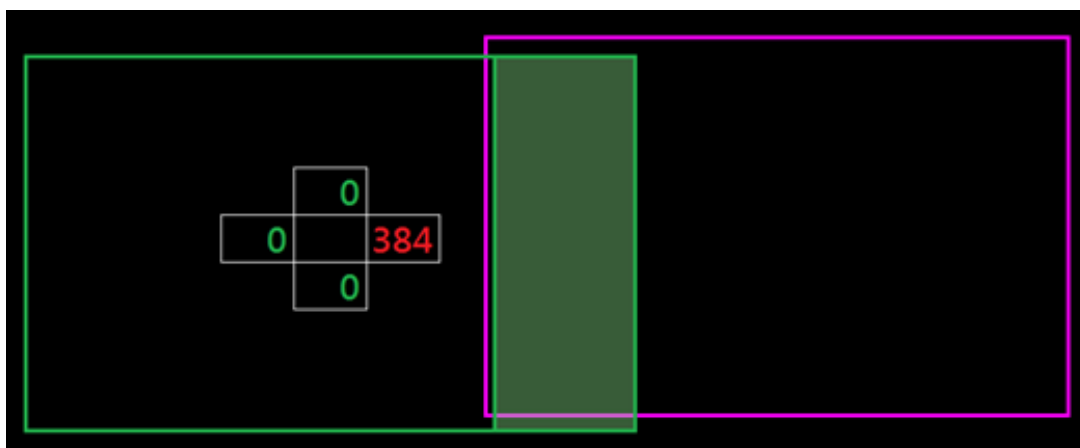


3. ブレンドオーバーラップサイズを設定します。ステップ: メニュー -> 表示 -> ジオメトリ補正 -> 詳細ワープ -> ブレンド設定 -> ブレンド幅。オーバーラップサイズのオプションおよび有効範囲は以下の通りです:
 - (a) 左: 0 (0%) / 192 (10%) ~ 960 (50%)
 - (b) 右: 0 (0%) / 192 (10%) ~ 960 (50%)
 - (c) 上: 0 (0%) / 120 (10%) ~ 600 (50%)
 - (d) 下: 0 (0%) / 120 (10%) ~ 600 (50%)
- 3.1 プロジェクターをセットアップし、実際の投影のオーバーラップに応じて、オーバーラップサイズを設定します。
 - A. オーバーラップサイズが、実際の投影のオーバーラップサイズよりも小さいことを確認してください。
 - B. すべてのプロジェクターのブレンド画面をオンにすると、有効オーバーラップ範囲を決定しやすくなります。
例として、1x2 レイアウトでの設定を参照し、以下のステップに従ってください。



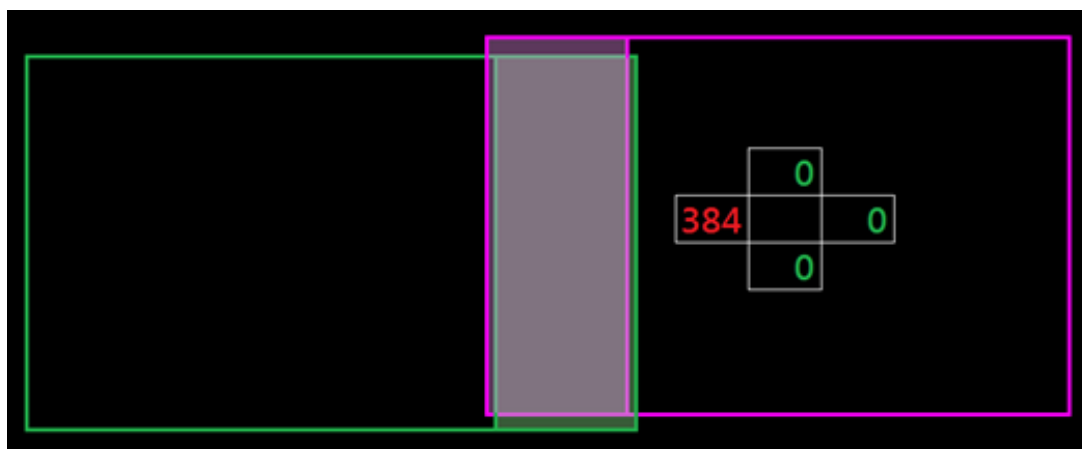
- 3.2 最初に、左側のプロジェクターの右境界線のオーバーラップサイズを調整します。
 - A. オーバーラップ領域の左側をブレンド設定の値に沿ってシフトさせます。オーバーラップ領域は、明るい色に正方形で表示されます。
 - B. 左側のプロジェクターのオーバーラップ領域の左側が右側のプロジェクターの左境界線を超えないようになるまで、オーバーラップサイズを調整します。

追加情報



3.3 右側のプロジェクターの左境界線のオーバーラップサイズを調整します。

- A. オーバーラップ領域の右側をブレンド設定の値に沿ってシフトさせます。オーバーラップ領域は、明るい色に正方形で表示されます。
- B. ブレンド設定の値が、左側のプロジェクターの右境界線のオーバーラップサイズと同じになるように調整します。
- C. オーバーラップ領域の右側が左側のプロジェクターの右境界線を超えていないことを確認します。
- D. 超えている場合は、結果がステップCの状態と一致するまで、ブレンド設定の値を減らします。
- E. 右側のプロジェクターのブレンド設定の値が、左側のプロジェクターよりも小さい場合は、左側のプロジェクターの値を右側のプロジェクターの値と同じになるように調整します。



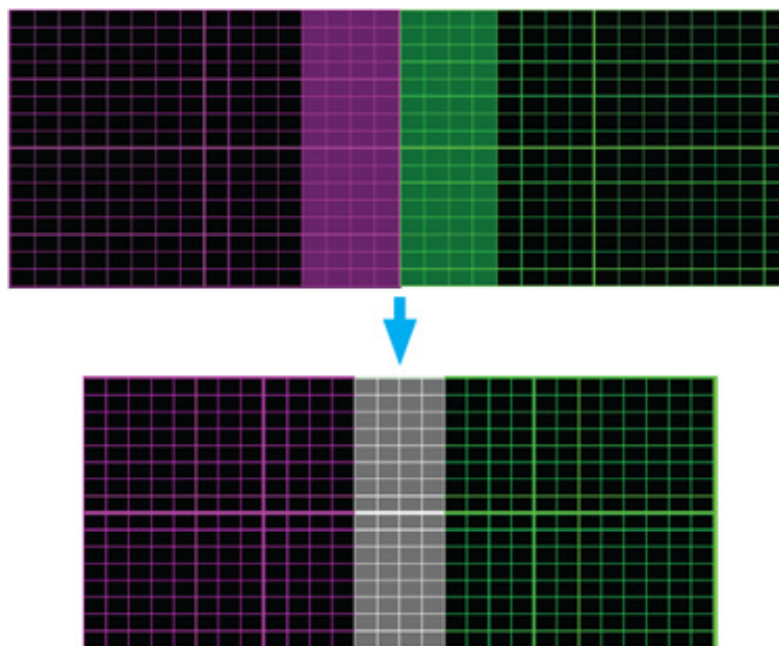
4. グリッド ポイントおよびワープ内部を使用して、ワープ校正を完了します。

- A. グリッド ポイントのオプションには、2x2 (既定)、3x3、5x5、9x9、17x17 が含まれます。

注:

1. **↑**、**↓**、**←** または **→** ボタンを使用して、グリッド ポイントを選択します。
 2. 「Enter」ボタンを押して、ポイントを選択します。
 3. 次に、**↑**、**↓**、**←** または **→** ボタンを押して、選択したポイントの位置をシフトさせます。
 4. **↶** を押して、前ページに戻ります。
- B. ワープ内部: 内部コントロールのオン/オフを切り替えます。
注: ワープ内部は、2x2 グリッドポイントをサポートしていません。
 - C. オーバーラップ領域は、ワープパターン内で、4 つの部分に等しく分割されます。
 - D. ワープ調整を使用して、オーバーラップのグリッド線を 2 つのプロジェクターに位置合わせして、手動ブレンディングを終了します。次のステップに従います。

追加情報



- (1) グリッド ポイント 2x2 を選択して、プロジェクターの境界線をオーバーラップ領域面に位置合わせします。
- (2) 設置状況に応じて、グリッド ポイント 3x3、5x5、9x9、17x17 を選択して、グリッド線を調整します。
- (3) ワープ内部をオンにして、内部グリッドを調整します。
- (4) すべてのグリッド線が位置合わせされました。**[戻る]** ボタンを押して、グリッドパターンを終了し、次に、手動ブレンディング設定を完了します。
5. グリッド線が直線から曲線に反っている場合、グリッド線は歪むか、ギザギザになります。これを避けるために、ワープシャープネスを調整して、画像のエッジをぼかしたりシャープにしたりできます。

追加情報

RS232プロトコル機能リスト

通信速度: 115200

データビット: 8

パリティ: なし

停止ビット: 1

フロー制御: なし

UART16550 FIFO: 無効化

■ Write Command								
~	X	X	X	X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command			space	variable	carriage return
Prefix	00~99 (Default: 00)		000~999				0~9999	suffix

Pass:

Fail:

■ Read Command								
~	X	X	X	X	X		n	CR
Lead Code	Projector ID		Command			space	variable	carriage return
Prefix	00~99 (Default: 00)		000~999				0~9999	suffix

Response Format

Pass:

O	k	n
		Variable

 Fail:

■ System Automatically Send				
I	N	F	O	n
				Variable

注: すべてのASCIIコマンドの後には<CR>が付きます。0Dは、ASCIIコードでの<CR>に対するHEXコードです。

追加情報

							Write Command			Read Command					
							Command			Command					
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	Value	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass			
Image	Picture Mode	[None]					X0020	1		X0123	1		O k B		
		Presentation					X0020	2		X0123	1		O k B		
		Bright					X0020	3		X0123	1		O k B		
		Cinema					X0020	4		X0123	1		O k B		
		HDR					X0020	21		X0123	1		O k B1		
		HLG					X0020	22		X0123	1		O k B		
		DICOM SIM					X0020	13		X0123	1		O k B0		
		Blending					X0020	10		X0123	1		O k B8		
		ID					X0020	9		X0123	1		O k B		
		ID High Speed					X0020	18		X0123	1		O k B8		
	Dynamic Range	User					X0020	6,26,30~37		X0123	1		O k 6,26,30~37		
		HDR	Off				X0055	0							
			Auto					X0055	1						
		HDR Picture Mode	Bright				X0056	0							
			Standard					X0056	1						
			min					X0056	2						
			Overall					X0056	3						
		Brightness	0 ~ 100				X0046	1							
			1					X0046	2		X0125	1		O k 0~100	
		Contrast	0 ~ 100				X0047	1							
	1						X0047	2		X0126	1		O k 0~100		
	Sharpness	1 ~ 15				X0021	1~15								
		Film					X0035	1							
	Gamma	Graphics					X0035	3							
		Standard(2.2)					X0035	4							
		Vivid					X0035	21							
		ID					X0035	6							
		Blackboard					X0035	10							
		DICOM SIM					X0035	11							
		1.8					X0035	5							
		2.0					X0035	6							
		2.4					X0035	12							
		2.8					X0035	8							
	Dynamic Contrast	Dynamic Black	Off				X0031	0							
		On					X0031	1							
		Speed	1 ~ 15				X0023	0~15							
		Strength	0 ~ 1				X0024	0~3							
		Level	30% ~ 100%				X0025	50~100							
		Extreme Black	Off				X0018	0							
		On					X0018	1							
		AV Mute Timer	0s ~ 30s				X0026	0~20							
		Black Signal Level	0 ~ 5				X0027	0~5							
		Color	0 ~ 100				X0045	0~100							
	White Balance	Tint	0 ~ 300				X0044	0~100							
		Color Temperature	Warm				X0036	4		X0128	1		O k B		
			Standard					X0036	1		X0128	1		O k B	
		Cool					X0036	2		X0128	1		O k B		
		Color Wheel Speed	2K				X0047	1							
			3K					X0047	2						
		Color Space	Red Gain	0 ~ 100				X0021	0~100						
			Green Gain	0 ~ 100				X0021	0~100						
			Blue Gain	0 ~ 100				X0026	0~100						
			Red Offset	0 ~ 100				X0017	0~100						
	Green Offset		0 ~ 100				X0028	0~100							
	Blue Offset		0 ~ 100				X0029	0~100							
	White Enhancement		0 ~ 10				X0041	0~10							
			Auto					X0037	1						
	Color Settings		Color Space	RGB (D-255)				X0037	2						
				RGB (16-235)				X0037	4						
		REC709					X0037	5							
		REC601					X0037	6							
		Auto Test Pattern	Off				X0041	1							
			On					X0041	1						
		Red	Hue			0 ~ 254	X0047	0~254							
			Saturation			0 ~ 254	X0033	0~254							
		Green	Gain			0 ~ 254	X0039	0~254							
			Hue			0 ~ 254	X0038	0~254							
	Blue	Saturation			0 ~ 254	X0034	0~254								
		Gain			0 ~ 254	X0040	0~254								
	Cyan	Hue			0 ~ 254	X0029	0~254								
		Saturation			0 ~ 254	X0035	0~254								
	Yellow	Gain			0 ~ 254	X0041	0~254								
		Hue			0 ~ 254	X0030	0~254								

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

追加情報

							Write Command		Read Command				
							Command						
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass		
	Wall Color	Off	Magenta	Saturation	0~254		POX338	0~254					
				Gain	0~254		POX344	0~254					
				Red	0~254		POX345	0~254					
			White	Green	0~254		POX346	0~254					
				Blue	0~254		POX347	0~254					
			Reset				POX315	1					
		BlackBoard					POX506	0					
							POX506	1					
							POX506	7					
							POX506	8					
							POX506	4					
							POX506	5					
	3D Setup	ID Mode					POX506	6					
			Off				POX230	4					
			Active 3D				POX230	0					
			Auto				POX405	0					
			Frame Packing				POX405	7					
			ID Format	Side by Side			POX405	1					
		ID Tech	Top and Bottom				POX405	2					
			Frame Sequential				POX405	3					
			DLP-Link				POX230	1					
			ID Sync				POX230	1					
			ID 2D				POX400	0					
			L				POX400	1					
	Save to User	ID Sync Out	R				POX400	2					
			To Emmitter				POX232	0					
			To Next Projector				POX232	1					
			Off				POX231	0					
			ID Invert				POX231	1					
			On				POX231	1					
		Frame Delay	1~200				POX233	1~500					
			Reset				POX234	1					
	Apply to User	User-Presentation					POX20	31	POX123	1	O k 31		
			User-Bright				POX20	32	POX123	1	O k 32		
			User-Gamma				POX20	33	POX123	1	O k 33		
			User-HDR				POX20	30	POX123	1	O k 26		
			User-cRGB				POX20	34	POX123	1	O k 34		
			User-OCOFM-SNR				POX20	35	POX123	1	O k 35		
		User-Blending					POX20	36	POX123	1	O k 36		
			User-3D				POX20	6	POX123	1	O k 6		
			User-3D High Speed				POX20	37	POX123	1	O k 37		
			Aspect Ratio	Auto					POX60	7	POX127	1	O k 7
					4:3				POX60	1	POX127	1	O k 1
					16:9				POX60	2	POX127	1	O k 2
	16:10						POX60	3	POX127	1	O k 3		
	LUX						POX60	5	POX127	1	O k 5		
		Ratio					POX60	6	POX127	1	O k 6		
		Proportional		Off				POX364	0				
				On				POX364	1				
	Digital Zoom			50% ~ 400%				POX504	50~400				
				100% ~ 4000%				POX505	50~4000				
		Horizontal Shift		0~100			POX365	0~100					
		Vertical Shift		0~100			POX366	0~100					
	Image Shift	Reset					POX364	0					
			H-Position	0~100			POX63	0~100					
			V-Position	0~100			POX64	0~100					
			Reset				POX172	1					
		Basic Warp	Warp Control	Basic				POX142	1				
				Advanced				POX142	5				
				AP				POX143	2				
				KeyStone	Horizontal	0~40		POX65	0~40	POX543	4	O k 0~40	
			PinCushion	Vertical	0~40		POX66	0~40	POX543	3	O k 0~40		
				Horizontal	0~100		POX300	0~100	POX543	6	O k 0~100		
				Vertical	0~100		POX301	0~100	POX543	5	O k 0~100		
				right +1			POX59	1					
	Top left		left +1			POX59	2						
			up +1			POX59	3						
			down +1			POX59	4						
			right +2			POX59	5						
	Top right		left +1			POX59	6						
			up +1			POX59	7						
			down +1			POX59	8						
			left +1			POX59	9						
	Bottom-left	left +1			POX59	10							
		up +1			POX59	11							
		down +1			POX59	12							
		right +1			POX59	13							
	Bottom-right	left +1			POX59	14							
		up +1			POX59	15							
		down +1			POX59	16							

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

追加情報

							Write Command		Read Command											
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	Cmd	Set Para.	Cmd	Cmd Value	Pass									
Display	Geometric Correction	Advanced Warp	Grid Color	Green			*X343	1												
				Magenta			*X343	2												
				Red			*X343	3												
				Cyan			*X343	4												
			Grid Background	Black			*X345	1												
				Transparent			*X345	2												
					2x2		*X344	1												
					3x3		*X344	2												
			Warp Setting	Grid Points	5x5			*X344	3											
					8x8			*X344	4											
					17x17			*X344	5											
					Off			*X346	0											
				Warp Inner	On		*X346	1												
				Warp Sharpness	0 ~ 9		*X348	0~9												
				Blend Width																
						4		*X369	1											
						6		*X369	2											
						8		*X369	3											
					10		*X369	4												
					12		*X369	5												
			Blend Setting	Overlap Grid Number	1.8			*X370	1											
		1.9					*X370	2												
		2.0					*X370	3												
		2.1					*X370	4												
		Gamma		2.2			*X370	5												
				2.3			*X370	6												
				2.4			*X370	7												
				Bottom																
				Area	Top															
				Enable	Off		*X368	4/6												
		Black Level	Edit Area	On		*X368	3/5													
			Add Point																	
			Remove Point																	
				Brightness		*X263	1/2/3/4													
				Red	0 ~ 255		mm		*X272~*X273	1		D	k	mm						
				Green	0 ~ 255		mm		*X272~*X273	2		D	k	mm						
				Blue	0 ~ 255		mm		*X272~*X273	3		D	k	mm						
				Exit																
				Red	0 ~ 255															
				Green	0 ~ 255															
				Blue	0 ~ 255															
				Reset	Bottom															
				Top																
				All																
			Memory	Save Memory	Memory 1 ~ Memory 5															
				Apply Memory	Memory 1 ~ Memory 5															
				Clear Memory																
				Reset																
				0 ~ 10																
		Unfreeze																		
		Freeze Screen																		
	Test Pattern	Off																		
		Green Grid																		
		Magenta Grid																		
		White Grid																		
		White																		
		Black																		
		Red																		
		Green																		
		Blue																		
		Yellow																		
		Magenta																		
		Cyan																		
		AND Contrast 4x4																		
		Color bar																		
		Full screen																		
		PIP - PSP	Screen	Off																
			PIP																	
			PSP																	
			(no Signal)																	
	VGA																			
	Main Source		HDMI1																	
			HDMI2																	
			HDMIxT																	
			(no Signal)																	
			VGA																	
	Sub Source	HDMI1																		
		HDMI2																		
		HDMIxT																		
	Swap																			

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	Write Command		Read Command			
							CMD	Set Para.	Command		Pass	
		Size	Location				XX304	3				
							XX304	2				
Input Setup	Reset	Small	Main Bottom				XX305	1				
							XX305	5				
	Auto Source	Off	PSP, Main Left				XX305	6				
							XX305	7				
	Quick Resync	On	PSP, Main Right				XX305	8				
							XX305	4				
	Active Inputs	HDMI1	PSP, Main Bottom				XX305	5				
							XX305	1				
	Latency Adjustment	HDMI2	PSP, Bottom Right				XX305	2				
							XX305	1				
	VGA	HDMIaT	PSP, Top Left				XX305	2				
							XX305	1				
	HDMI	Normal	20 Ultra				XX305	0				
		Phase	(read only)				XX305	1				
	HDMI 1 EDID	Resolution	HDMI 1				XX305	0				
		Output	HDMI 2				XX305	1				
	HDMI 2 EDID	L.A	L.A				XX305	2				
		2	2				XX305	1				
	Reset	English					XX305	1				
		Deutsch					XX305	2				
Language	Projection	Français					XX305	3				
		Italiano					XX305	4				
	Lens Settings	Español					XX305	5				
		Português					XX305	6				
	View	Polski					XX305	7				
		Nederlands					XX305	8				
	Auto	On					XX305	9				
		Off					XX305	10				
	Rear	On					XX305	11				
		Off					XX305	12				
	Focus	+					XX305	13				
		-					XX305	14				
	Zoom	+					XX305	15				
		-					XX305	16				
	Up	Down					XX305	17				
		Left					XX305	18				
	Right	Up					XX305	19				
		Down					XX305	20				
View Today	Save Memory	Memory 1 ~ Memory 5					XX305	21				
		Apply Memory					XX305	22				
	Clear Memory	Memory 1 ~ Memory 5					XX305	23				
							XX305	24				
	Lens Calibration	On					XX305	25				
		Off					XX305	26				
	Lens Lock	Lock					XX305	27				
		Unlock					XX305	28				
	Reset	On					XX305	29				
		Off					XX305	30				
	Date and Time	(Depend on System Time)					XX305	31				
		On					XX305	32				
	Schedule Mode	Monday					XX305	33				
		Tuesday					XX305	34				
	View Today	Wednesday					XX305	35				
		Thursday					XX305	36				
	Schedule Enable	Friday					XX305	37				
		Saturday					XX305	38				
	Time	00:00 ~ 23:59					XX305	39				
		Off					XX305	40				
View Today	Schedule Mode	Monday					XX305	41				
		Tuesday					XX305	42				
	View Today	Wednesday					XX305	43				
		Thursday					XX305	44				
	Schedule Enable	Friday					XX305	45				
		Saturday					XX305	46				
	Time	00:00 ~ 23:59					XX305	47				
		Off					XX305	48				
	Schedule Mode	Monday					XX305	49				
		Tuesday					XX305	50				
	View Today	Wednesday					XX305	51				
		Thursday					XX305	52				
	Schedule Enable	Friday					XX305	53				

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	Write Command		Read Command				
							Command		Command		Pass		
Device Setup	Schedule	Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday Sunday	Event 01 08 Event 09 16	Function	Power Settings		CMD	Set Para.	CUB	CMD Value			
					Input Source		X0471	dhmmmmqabb					
					Light Source Mode		X0471	dhmmmmqabb					
					Shutter		X0471	dhmmmmqabb					
				Event	Off		X0471	dhmmmmqabb					
					Power On		X0471	dhmmmmqabb					
					Eco		X0471	dhmmmmqabb					
				(Function + Power Settings)	Active		X0471	dhmmmmqabb					
					Communication		X0471	dhmmmmqabb					
					VGA		X0471	dhmmmmqabb					
				(Function + Input Source)	HDMI1		X0471	dhmmmmqabb					
					HDMI2		X0471	dhmmmmqabb					
					HDBaseT		X0471	dhmmmmqabb					
				(Function + Light Source Mode)	Normal Mode		X0471	dhmmmmqabb					
					Tot Mode		X0471	dhmmmmqabb					
					Custom Brightness		X0471	dhmmmmqabb					
				(Function + Shutter)	Shutter On		X0471	dhmmmmqabb					
					Shutter Off		X0471	dhmmmmqabb					
			Copy Events To	Reset			X0471	dhmmmmqabb					
				Monday			X0471	dhmmmmqabb					
				Tuesday			X0471	dhmmmmqabb					
				Wednesday			X0471	dhmmmmqabb					
				Thursday			X0471	dhmmmmqabb					
				Friday			X0471	dhmmmmqabb					
				Saturday			X0471	dhmmmmqabb					
				Sunday			X0471	dhmmmmqabb					
				Reset			X0471	dhmmmmqabb					
				Monday			X0471	dhmmmmqabb					
			Reset the Day	Monday			X0471	dhmmmmqabb					
				Tuesday			X0471	dhmmmmqabb					
				Wednesday			X0471	dhmmmmqabb					
				Thursday			X0471	dhmmmmqabb					
				Friday			X0471	dhmmmmqabb					
				Saturday			X0471	dhmmmmqabb					
				Sunday			X0471	dhmmmmqabb					
				Reset			X0471	dhmmmmqabb					
				Monday			X0471	dhmmmmqabb					
				Tuesday			X0471	dhmmmmqabb					
	Date and Time	Clock Mode	Use NTP Server				X0474	1					
			Manual				X0474	3					
			XXXX - XXXX (Year)				X0475	mm					
			01 ~ 12 (Month)				X0476	mm					
			01 ~ 31 (Day)				X0477	mm					
			00 ~ 59 (Hour)				X0478	mm					
			00 ~ 59 (Minute)				X0479	mm					
			Daylight Saving Time				X0480	0					
			On				X0480	1					
		NTP Server	time.google.com				X0481	1					
			asia.pool.ntp.org				X0481	2					
			europa.pool.ntp.org				X0481	3					
			north-america.pool.ntp.org				X0481	4					
			UTC+14:00				X0482	1					
			UTC+13:00				X0482	2					
			UTC+12:45				X0482	3					
			UTC+12:00				X0482	4					
			UTC+11:00				X0482	5					
			UTC+10:30				X0482	6					
		Time Zone	UTC+10:00				X0482	7					
			UTC+09:30				X0482	8					
			UTC+09:00				X0482	9					
			UTC+08:45				X0482	10					
			UTC+08:00				X0482	11					
			UTC+07:00				X0482	12					
			UTC+06:30				X0482	13					
			UTC+06:00				X0482	14					
			UTC+05:45				X0482	15					
			UTC+05:30				X0482	16					
			UTC+05:00				X0482	17					
			UTC+04:30				X0482	18					
			UTC+04:00				X0482	19					
			UTC+03:30				X0482	20					
			UTC+03:00				X0482	21					
			UTC+02:00				X0482	22					
			UTC+01:00				X0482	23					
			UTC+00:00				X0482	24					
			UTC-01:00				X0482	25					
			UTC-02:00				X0482	26					
			UTC-03:00				X0482	27					
			UTC-03:30				X0482	28					
			UTC-04:00				X0482	29					
			UTC-05:00				X0482	30					
			UTC-06:00				X0482	31					
			UTC-07:00				X0482	32					
			UTC-08:00				X0482	33					
			UTC-09:00				X0482	34					
			UTC-09:30				X0482	35					
			UTC-10:00				X0482	36					
			UTC-11:00				X0482	37					
			UTC-12:00				X0482	38					

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	Write Command			Read Command																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
							CMD	Comment	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	Power Settings	Update Interval	hourly				X0483		1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												</

							Write Command			Read Command							
							Command			Command							
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	Set Para.		CMD	CMD Value	Fail	Pass	Fail	Pass		
Communication	Remote Setup	User 1	IR Function	HDBaseT	Off On		X0011	0		X0042	1		0	1			
			Increase Screen				X0011	1		X0049	1		0	1			
			Blank Screen				X0017	2									
			PIP/PIP				X0017	3									
			Aspect Ratio				X0017	4									
			Information Hide				X0017	5									
			Network setup				X0017	6									
			Projector ID				X0017	7									
			Color Matching				X0017	8									
			Reset Selective				X0017	9									
			Quick Switch Code				X0017	10									
			Audio Mute				X0017	11									
			Audio Volume				X0017	12									
			Increase Screen				X0018	1									
			Blank Screen				X0018	2									
			PIP/PIP				X0018	3									
			Aspect Ratio				X0018	4									
			Information Hide				X0018	5									
			Network setup				X0018	6									
			Projector ID				X0018	7									
		Color Matching				X0018	8										
		Reset Selective				X0018	9										
		Quick Switch Code				X0018	10										
		Audio Mute				X0018	11										
		Audio Volume				X0018	12										
		Rx-AS				X0460	1										
		HDBaseT				X0460	2										
		MAC Address	(read only)								X0555	1		0	1	0	1
		Network Status	(read only) Connected								X087	0	1	0	1	0	1
			(read only) Disconnected								X087	1	0	0	1	0	1
		DHCP	On								X0461	0		0	1	0	1
		IP Address									X0461	1		0	1	0	1
		Subnet Mask															
		Gateway															
		ONS															
		Apply															
		Network Reset									X0462	1					
		Email															
		Email 1	(read only)														
		Email 2	(read only)								X0443	1		0	1	0	1
	User									X0443	2		0	1	0	1	
	Fan Error																
	Power On/Off									X0563							
	Video Loss									X0563	4/3						
	User									X0463	5/5						
	Reset									X0463	2/7						
										X0664	1						
										X0654	0						
										X0654	1						
										X0465	1*non.non.non.non						
										X0466	1*non						
										X0467	1*nonnon						
										X0656	0						
										X0556	1						
										X0668	0						
										X0668	1						
										X0670	non-n(70) (nonnonnon)						
										X0440	1		0	1	0	1	
	Control	Broadcast															

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value
		Service				
		PI Link Setup Apply				
		Extron	Off			
		Extron	On			
		AMX	Off			
		AMX	On			
		Telnet	Off			
		Telnet	On			
		HTTP	Off			
		HTTP	On			
	Baud Rate	Reset				
		Serial Port In	1200			
			2400			
			4800			
			9600			
			19200			
			38400			
			57600			
			115200			
		Reset				
	Device	Regulatory				
		Serial Number				
		Projection Hours				
		Standby Mode				
		Light Source Mode				
		Light Source Hours				
		Total Hours				
		Normal				
		Eco Mode				
		Custom Power				
	System Status	Ambient Temp.				
		Temperature				
		Projector ID				
		Remote Code				
		Network				
		LAN Interface				
		MAC Address				
		Network Status				
		DHCP				
		IP Address				
	Communication	Subnet Mask				
		Gateway				
		DNS				
		Control				
		Crestron				
		Extron				
		PI Link				
		AMX				
		Telnet				
		HTTP				
	Signal	Input Signal				
		Resolution				
		Signal Format				
		Panel Clock				
		Horiz Refresh				
		Vert Refresh				
		Color Space				
		Picture Mode				
		Second Signal				
		Resolution				
		Signal Format				
		Panel Clock				
		Horiz Refresh				
		Vert Refresh				
		Color Space				
		Main Version				
		SCALER Version				
		F-MCU Version				

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value
	Firmware Version	M-MCU Version				
		A-MCU Version				
		LAN Version				
		Formatter Version				
		HDBaseT Version				
		Camera Version				

Other Items

Power Off							XX00	0		XX124	1		O	k	0	
Power On							XX00	1		XX124	1		O	k	1	
Power On with password							XX00	1 "times								
Restart							XX00	3								
Re-Sync							XX01	1								
AV Mute	Off						XX02	0		XX355	1		O	k	0	
	On						XX02	1		XX355	1		O	k	1	
Freeze	Unfreeze						XX04	0								
	Freeze						XX04	1								
3D Sync Out	To Emitter						XX232	0								
	To Next Projector						XX232	1								
3D Frame Delay	1 ~ 200						XX233	1 ~ 200								
Output 3D state	3D									XX130	1		O	k	0	
	3D									XX130	1		O	k	1	
	Standby Mode												I	N	F	0
	Warmink up												I	N	F	0
	Cooling Down												I	N	F	0
	Out of Range												I	N	F	0
	Illuminance Fall (LED Fall)												I	N	F	0
	Thermal Switch Error												I	N	F	0
	Fan Lock												I	N	F	0
	Over Temperature												I	N	F	0
	LightSource Hours Running Out												I	N	F	0
	Cover Open												I	N	F	0
	Illuminance Ignite Fail												I	N	F	0
	Format Board Power On Fail												I	N	F	0
	Color Wheel Unexpected Stop												I	N	F	0
	Over Temperature												I	N	F	0
	FAN 1 Lock												I	N	F	0
	FAN 2 Lock												I	N	F	0
	FAN 3 Lock												I	N	F	0
	FAN 4 Lock												I	N	F	0
	FAN 5 Lock												I	N	F	0
	LAN fail then restart												I	N	F	0
	LD lower than 60%												I	N	F	0
	LD NTC (1) Over Temperature												I	N	F	0
	LD NTC (2) Over Temperature												I	N	F	0
	High Ambient Temperature												I	N	F	0
	System Ready												I	N	F	0
	FAN 6 Lock												I	N	F	0
	FAN 7 Lock												I	N	F	0
	FAN 8 Lock												I	N	F	0
	FAN 9 Lock												I	N	F	0
	FAN 10 Lock												I	N	F	0
	FAN 11 Lock												I	N	F	0
	FAN 12 Lock												I	N	F	0
	FAN 13 Lock												I	N	F	0
	FAN 14 Lock												I	N	F	0
	Green/Normal									XX155	1		O	k	1	
	Orange/Notice									XX155	1		O	k	2	
	Red/Warning, About to trigger shutdown									XX155	1		O	k	3	
	Green/Normal									XX159	1		O	k	1	
	Orange/Notice									XX159	1		O	k	2	
	Red/Warning, About to trigger shutdown									XX159	1		O	k	3	
	Projector									XX149	1		O	k	1	
	Options WUXGA									XX151	1		O	k	5	
	On									XX229	1		O	k	1	
	Off									XX229	1		O	k	0	

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value
Regulatory Model						
Software Version						
Fan Speed	Fan 1 Speed	2000-9999				
	Fan 2 Speed	2000-9999				
	Fan 3 Speed	2000-9999				
	Fan 4 Speed	2000-9999				
	Fan 5 Speed	2000-9999				
	Fan 6 Speed	2000-9999				
	Fan 7 Speed	2000-9999				
	Fan 8 Speed	2000-9999				
	Fan 9 Speed	2000-9999				
	Fan 10 Speed	2000-9999				
	Fan 11 Speed	2000-9999				
	Fan 12 Speed	2000-9999				
	Fan 13 Speed	2000-9999				
	Fan 14 Speed	2000-9999				
System Temperature						
Information	Info String					
	Header Resolution					
	Main Source					
	- Resolution					
	- Signal Format					
	- Pixel Clock					
	- Hsync Refresh					
	- Vsync Refresh					
	Sub Source					
	- Resolution					
	- Signal Format					
	- Pixel Clock					
	- Hsync Refresh					
	- Vsync Refresh					
	Light Source Mode					
	Standby Power Mode	Active				
		Ec0				
		Communication				
	DHCP	Off				
		On				
	System Temperature					
	Refresh rate					
Source Lock	On					
	Off					
Display message on the OSD						
Filter Wheel Index						
Light Sensor Calibration						

Remote Control Simulation

[illegible]

Write Command			Command		Read Command						
CMD	NAME	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass						
			0X351	4							0X42UNTEST 0X42UNTEST 0X42UNTEST 0X42UNTEST (Software Version)
			0X0122	1	O	k	0000	9999			
			0X001	1	O	k	0000	9999			
			0X001	2	O	k	0000	9999			
			0X001	3	O	k	0000	9999			
			0X001	4	O	k	0000	9999			
			0X001	5	O	k	0000	9999			
			0X001	6	O	k	0000	9999			
			0X001	7	O	k	0000	9999			
			0X001	8	O	k	0000	9999			
			0X001	9	O	k	0000	9999			
			0X001	10	O	k	0000	9999			
			0X001	11	O	k	0000	9999			
			0X001	12	O	k	0000	9999			
			0X001	13	O	k	0000	9999			
			0X001	10	O	k	0000	9999			
			0X002	1	O	k	0000	9999			
			0X010	1	O	k	hhhhhh	ccddddd			
			0X010	2	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
			0X010	3	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
			0X010	4	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
			0X010	5	O	k	mm...nn				
			0X010	6	O	k	mm...nn				
			0X010	7	O	k	mm...nn				
			0X010	8	O	k	mm...nn				
			0X010	9	O	k	mm...nn				
			0X010	10	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
			0X010	11	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
			0X010	12	O	k	mm...nn				
			0X010	13	O	k	mm...nn				
			0X010	14	O	k	mm...nn				
			0X010	15	O	k	mm...nn				
			0X010	16	O	k	1				
			0X010	16	O	k	1				
			0X010	16	O	k	1				
			0X010	17	O	k	1				
			0X010	18	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
			0X010	19	O	k	mm...nn (e.g. 0A1920x1980)				
0X400		0									
0X010		1									
0X010		mm...nn (10 characters)									
0X018		0000~9999									
0X019		0000~9999									
0X012											
0X010		0									
0X010		1									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									
0X010		0000~9999									

[illegible]

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	p value
Cinema						
Pip						
Louis Hillcroft						
Louis Willoughby						
Louis Villafra						
Louis Villafra						
H Kraydonne *						
I Kraydonne						
John Kay Loner(10F1)						
John Kay Loner(20F2)						
Orphan						
Eam						
Mute						
Bethem						

Write Command			Read Command				
Command			Command				
CMD	NAME	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass		
XXXX40		63					
XXXX40		63					
XXXX40		64					
XXXX40		65					
XXXX40		66					
XXXX40		67					
XXXX40		68					
XXXX40		69					
XXXX40		70					
XXXX40		71					
XXXX40		73					
XXXX40		74					
XXXX40		77					
XXXX40		80					

注: 一部のコマンドはサポートされていません。モデルによって異なります。

Note *1 ~xx150	Power				Light Source Life				Input Source				Firmware Version				Display Mode			
	a				b				c				d				e			
	b	b	b	b	c	c	c	c	d	d	d	d	e	e	e	e				
a=0 Power Off a=1 Power On	Light Source Life = nnnn Calcalte by each mode formula				cc=00 None cc=01 DVI cc=02 VGA1 cc=03 VGA2 cc=04 S-Video cc=05 Video cc=06 BNC cc=07 HDM11 cc=08 HDM12 cc=09 Wireless cc=10 Component cc=11 Flash drive cc=12 Network Display(Presenter) cc=13 USB Display cc=14 HDM13 cc=15 DisplayPort cc=16 HDBaseT cc=17 Multimedia				# # # # #				ee=00 None ee=01 Presentation (Old: Cinema) ee=02 Bright ee=03 Cinema (Old: Movie/Photo) ee=04 sRGB/Reference/Standard ee=05 User (1) ee=06 User2 ee=07 Blackboard ee=08 Classroom ee=09 3D ee=10 DICOM SIM. ee=11 Film ee=12 Game ee=13 Cinema ee=14 Vivid ee=15 ISF Day ee=16 ISF Night ee=17 ISF 3D ee=18 2D high speed ee=19 Blending Mode ee=20 Sport ee=21 HDR ee=22 HDR SIM. ee=23 Super Bright ee=24 (Alexa auto check 2D/3D User)							

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

カナダ

47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No. 1398 Kaixuan Road,
Changning District,
Shanghai, 200052, China
www.optoma.com.cn

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
 servicecn@optoma.com.cn

中南米およびメキシコ

47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills,
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0252
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of.1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Germany

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99
 info@optoma.de

スキャンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

